

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の概要

I 調査の概要

1 調査目的

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、介護保険法第117条第5項の規定に基づき、青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第9期計画策定の基礎資料とするため、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者等を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定（地域診断）に資することなどを目的に実施するものです。

2 調査の実施時期

令和4年12月21日～令和5年1月11日

3 調査対象者

令和4年11月1日現在、65歳以上及び40歳から64歳以下の市民のうち、無作為抽出した方（年齢階層ごとに市内11圏域の人口比で抽出）。

○第1号被保険者（65歳以上） 7,500人（要介護1から5の方を除く）

○第2号被保険者（40歳～64歳） 1,000人（ ” ” ）

合計 8,500人

4 実施方法

郵送配付、郵送回収

5 調査項目

○国が示す調査項目及び市独自の調査項目で構成

○全国との比較をするため、国から示された調査項目についてはそのまま活用する。

○調査項目数（65歳以上）：79項目（国調査項目64、市独自調査項目15）

調査項目数（40歳～64歳）：36項目（国調査項目26、市独自調査項目10）

【具体的な調査項目】

- ①あなたのご家族や生活状況について
- ②からだを動かすことについて
- ③食えることについて
- ④毎日の生活について
- ⑤地域での活動について
- ⑥たすけあいについて
- ⑦健康について
- ⑧認知症にかかる相談窓口の把握について
- ⑨介護予防について
- ⑩介護保険制度について
- ⑪地域包括支援センターについて
- ⑫自由記載欄

6 配付数及び回収数

(単位：人)

調査種別	圏域	対象者数	配布数	回収数	回収率
65歳以上	1 おきだて	6,716	680	391	57.5%
	2 すずかけ	7,849	680	416	61.2%
	3 中央	6,781	680	395	58.1%
	4 東青森	7,669	680	417	61.3%
	5 南	7,672	680	406	59.7%
	6 東部	7,195	680	393	57.8%
	7 おおの	7,924	680	419	61.6%
	8 寿永	6,777	680	392	57.6%
	9 のぎわ	6,218	680	366	53.8%
	10 みちのく	5,029	680	401	59.0%
	11 浪岡	5,054	700	386	55.1%
	計	74,884	7,500	4,382	58.4%
40～64歳	計	95,960	1,000	358	35.8%
合計		170,844	8,500	4,740	55.8%

【参考】令和元年度調査回収率

回収率 65歳以上：65.0%、40～64歳：48.2%、合計：63.1%

7 回答者の属性

(1) 性別

○65歳以上(高齢者)

区分	全体	おきだて	すずかけ	中央	東青森	南	東部	おおの	寿永	のぎわ	みちのく	浪岡
男性	(人)	1,811	157	178	162	178	176	158	174	157	145	164
	(%)	41.3	40.2	42.8	41.0	42.7	43.3	40.2	41.5	40.1	39.6	40.9
女性	(人)	2,571	234	238	233	239	230	235	245	235	221	237
	(%)	58.7	59.8	57.2	59.0	57.3	56.7	59.8	58.5	59.9	60.4	59.1
回収数	(人)	4,382	391	416	395	417	406	393	419	392	366	401

○40歳以上64歳以下

区分	全体	おきだて	すずかけ	中央	東青森	南	東部	おおの	寿永	のぎわ	みちのく	浪岡
男性	(人)	151	19	12	19	9	22	15	16	13	8	10
	(%)	42.2	52.8	37.5	50.0	24.3	62.9	51.7	29.6	43.3	33.3	34.8
女性	(人)	207	17	20	19	28	13	14	38	17	16	15
	(%)	57.8	47.2	62.5	50.0	75.7	37.1	48.3	70.4	56.7	66.7	65.2
回収数	(人)	358	36	32	38	37	35	29	54	30	24	20

(2) 年齢構成

○ 65歳以上(高齢者)

区分		全体	おきだて	すずかけ	中央	東青森	南	東部	おおの	寿永	のぎわ	みちのく	浪岡
65～	(人)	1,082	97	91	100	107	98	85	113	93	95	100	103
69歳	(%)	24.7	24.8	21.9	25.3	25.7	24.1	21.6	27.0	23.7	26.0	24.9	26.7
70～	(人)	1,293	99	127	103	124	121	133	117	114	113	127	115
74歳	(%)	29.5	25.3	30.5	26.1	29.7	29.8	33.8	27.9	29.1	30.9	31.7	29.8
75～	(人)	950	85	94	84	93	94	86	88	88	79	82	77
79歳	(%)	21.7	21.7	22.6	21.3	22.3	23.2	21.9	21.0	22.4	21.6	20.4	19.9
80～	(人)	627	60	67	60	59	62	58	59	52	48	52	50
84歳	(%)	14.3	15.3	16.1	15.2	14.1	15.3	14.8	14.1	13.3	13.1	13.0	13.0
85～	(人)	320	36	26	39	28	25	23	30	36	23	25	29
89歳	(%)	7.3	9.2	6.3	9.9	6.7	6.2	5.9	7.2	9.2	6.3	6.2	7.5
90歳	(人)	110	14	11	9	6	6	8	12	9	8	15	12
以上	(%)	2.5	3.6	2.6	2.3	1.4	1.5	2.0	2.9	2.3	2.2	3.7	3.1
回収数	(人)	4,382	391	416	395	417	406	393	419	392	366	401	386

○ 40歳以上64歳以下

区分		全体	おきだて	すずかけ	中央	東青森	南	東部	おおの	寿永	のぎわ	みちのく	浪岡
40～	(人)	50	4	5	4	2	7	3	11	5	2	2	5
44歳	(%)	14.0	11.1	15.6	10.5	5.4	20.0	10.3	20.4	16.7	8.3	8.7	25.0
45～	(人)	66	6	6	7	6	6	5	15	8	4	2	1
49歳	(%)	18.4	16.7	18.8	18.4	16.2	17.1	17.2	27.8	26.7	16.7	8.7	5.0
50～	(人)	65	6	7	6	7	7	4	13	2	4	6	3
54歳	(%)	18.2	16.7	21.9	15.8	18.9	20.0	13.8	24.1	6.7	16.7	26.1	15.0
55～	(人)	79	8	5	10	8	7	6	10	6	8	6	5
59歳	(%)	22.1	22.2	15.6	26.3	21.6	20.0	20.7	18.5	20.0	33.3	26.1	25.0
60～	(人)	98	12	9	11	14	8	11	5	9	6	7	6
64歳	(%)	27.4	33.3	28.1	28.9	37.8	22.9	37.9	9.3	30.0	25.0	30.4	30.0
回収数	(人)	358	36	32	38	37	35	29	54	30	24	23	20

II 調査結果の概要（65歳以上）

1 リスク該当者の状況

(1) リスク該当者の評価

運動機能や口腔機能などの生活機能の低下リスクを確認するための「基本チェックリスト」を基に、①虚弱、②運動機能、③低栄養、④口腔機能、⑤閉じこもり、⑥認知機能、⑦うつ、⑧転倒のリスクに該当するかどうか評価した。

リスクの評価に用いた設問と点数評価は次のとおり。

○各リスクの評価に用いた設問と点数評価

NO	設問	回答と点数			
1	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	できない (1点)	① 虚弱	以下の項目に該当した場合に、リスク該当者として評価	
2	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できない (1点)			
3	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できない (1点)			
4	友人の家を訪ねていますか	いいえ (1点)			
5	家族や友人の相談にのっていますか	いいえ (1点)			
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない (1点)			② 運動機能
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない (1点)			
8	15分位続けて歩いていますか	できない (1点)			⑧ 転倒
9	過去1年間に転んだ経験がありますか	・何度もある又は ・1度ある (1点)			
10	転倒に対する不安は大きいですか	・とても不安である又は ・やや不安である (1点)			③ 低栄養
11	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	はい (1点)			
12	身長・体重 ※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)	BMI: 18.5未満 (1点)			④ 口腔機能
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい (1点)			
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい (1点)			⑤ 閉じこもり
15	口の渇きが気になりますか	はい (1点)			
16	週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない (1点)			⑥ 認知機能
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	・とても減っている又は ・減っている (1点)			
18	物忘れが多いと感じますか	はい (1点)			⑦ うつ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	いいえ (1点)			
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	はい (1点)			
21	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい (1点)			
22	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい (1点)			

20項目のうち10点以上に該当

5項目のうち3点以上に該当

9番に該当

2項目とも該当

3項目のうち2点以上に該当

16番に該当

18番に該当

2項目のうち1点以上に該当

(2) リスク該当者の状況

リスク該当者については、「転倒」の割合が45.0%（令和元年度33.3% 11.7ポイント増）と最も高く、次いで「認知機能」が44.3%（令和元年度42.7% 1.6ポイント増）、「うつ」が37.5%（令和元年度43.1% 5.6ポイント減）となっている。

特に、「転倒」の割合は、令和元年度に比べて大幅に増加している。

リスク該当者の割合は、「うつ」以外のリスクで令和元年度に比べ、概ね増加している。

図表 リスク該当者の割合

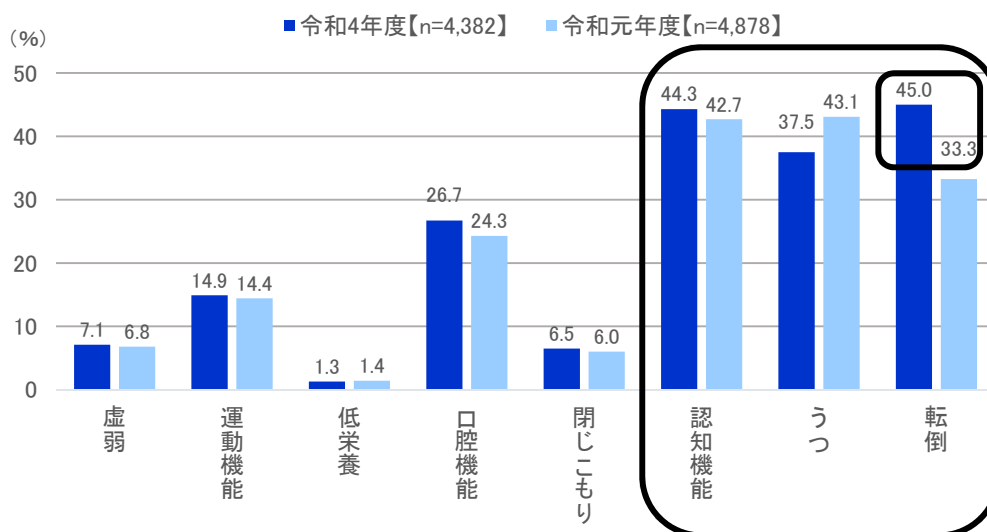


表 圏域ごとのリスク該当者の割合

区分	全体	全体(市の平均)の割合を超えているもの										
		おきだて	すずかけ	中央	東青森	南	東部	おおの	寿永	のぎわ	みちのく	浪岡
虚弱	7.1	8.4	6.3	8.4	5.3	10.1	6.6	5.0	6.6	5.5	7.0	8.5
	6.8	6.2	5.6	4.9	5.3	8.8	7.8	4.5	6.9	7.7	7.3	8.9
運動機能	14.9	19.2	10.8	17.7	13.4	13.8	14.2	11.9	13.0	17.2	14.5	18.4
	14.4	14.0	12.0	12.6	10.9	15.3	15.6	11.8	15.4	15.7	15.1	19.8
低栄養	1.3	1.0	1.9	1.5	1.2	1.5	1.3	0.7	1.3	1.4	1.0	1.8
	1.4	1.1	0.7	1.2	1.8	2.0	1.2	0.9	1.4	1.2	2.2	1.8
口腔機能	26.7	27.6	26.4	27.1	25.4	30.3	25.7	27.4	26.0	26.5	26.2	25.4
	24.3	18.8	23.5	27.0	23.6	24.1	27.0	20.1	23.7	25.8	28.3	25.3
閉じこもり	6.5	7.9	6.0	5.3	5.8	7.1	7.6	5.5	6.6	7.9	5.2	7.3
	6.0	4.1	5.2	5.1	4.2	6.2	7.3	4.5	6.9	9.6	4.8	8.3
認知機能	44.3	47.1	42.3	43.0	45.3	47.0	42.7	45.1	43.4	51.4	35.4	45.3
	42.7	40.3	43.1	40.8	35.8	43.8	47.0	41.2	39.9	44.7	43.2	49.1
うつ	37.5	38.9	36.8	40.3	34.3	38.4	34.4	35.3	40.8	35.5	36.7	42.0
	43.1	41.6	38.1	46.4	44.8	45.4	45.4	46.6	42.2	39.1	41.0	43.2
転倒	45.0	44.8	42.8	47.6	45.6	46.3	41.7	44.6	45.2	43.7	46.9	45.6
	33.3	29.7	32.5	31.5	31.9	33.8	36.4	35.5	33.2	31.4	35.9	33.7

上段：令和4年度 下段：令和元年度 (%)

2 リスク該当者と地域活動への参加状況との関係

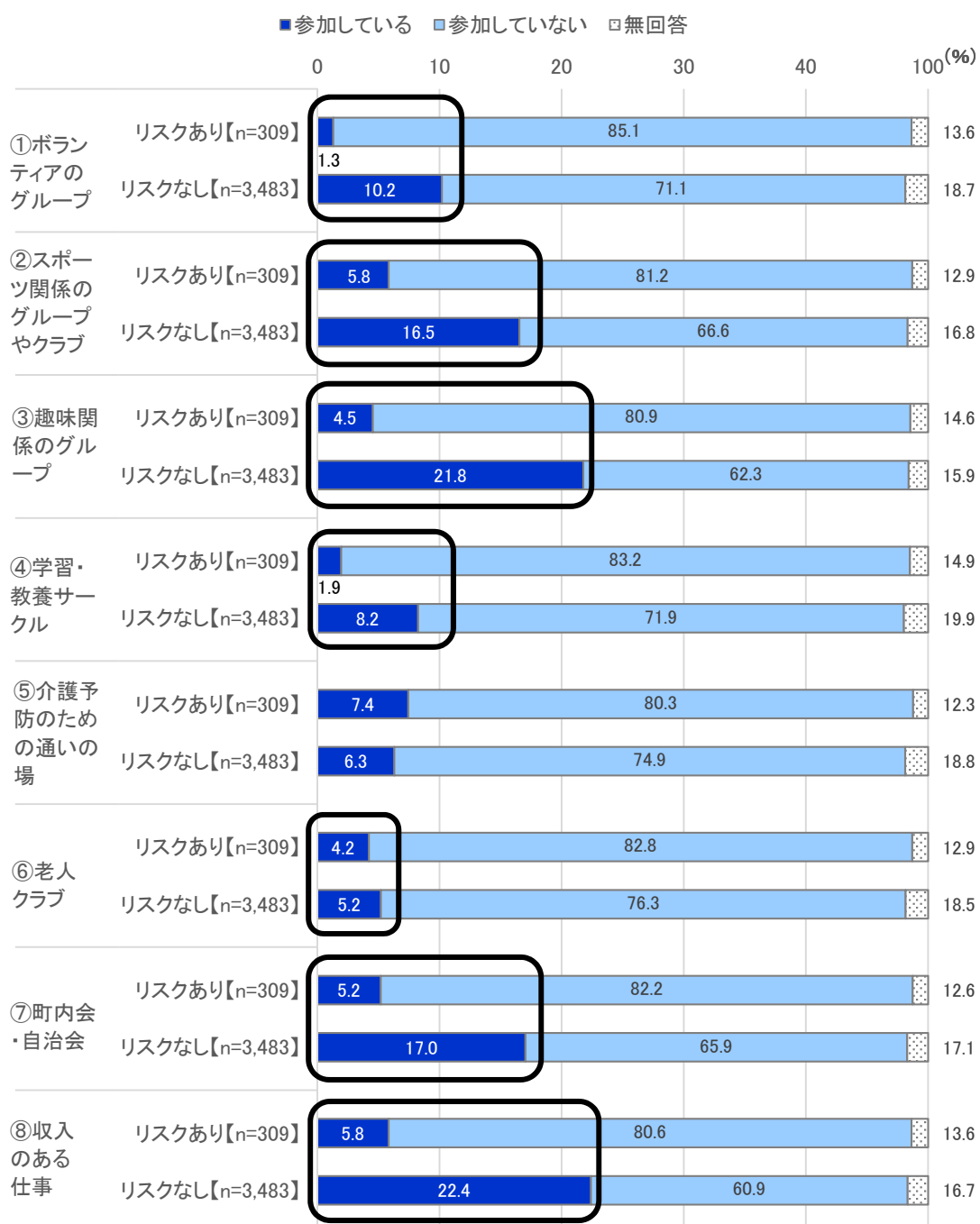
(1) 虚弱リスクの分析

虚弱リスクなしの群は、ありの群と比較し、①から⑧までのほとんどの地域活動において、「参加している」の割合が高くなっている。

特に、⑧収入のある仕事、③趣味関係のグループ、⑦町内会・自治会、②スポーツ関係のグループやクラブなどは、「参加している」の割合が高くなっている。

地域活動に参加している高齢者は、参加していない高齢者に比べて虚弱リスクが低くなる傾向がうかがえる。

このことから、虚弱リスクを減らすためには、地域活動に参加する機会を増やす必要がある。

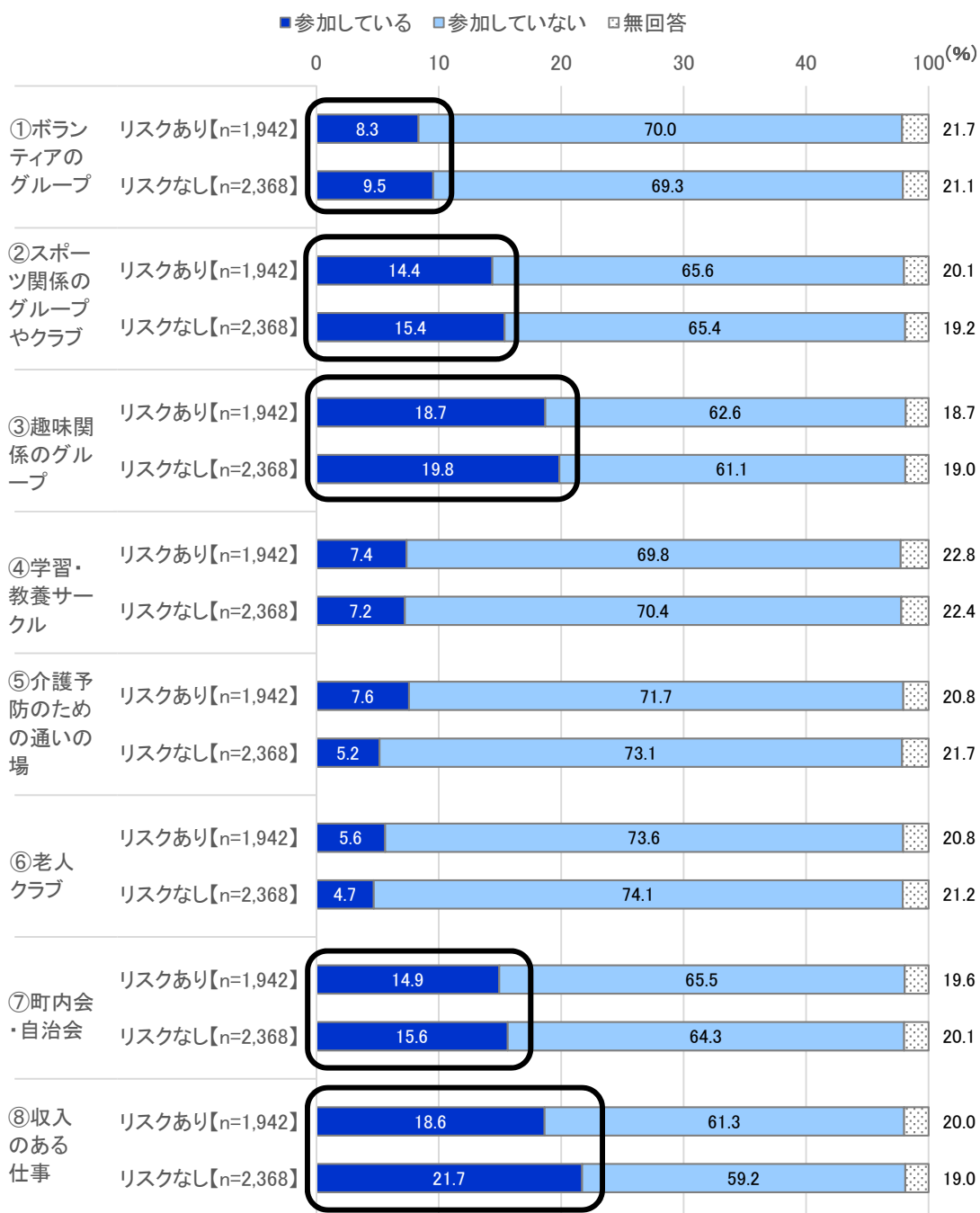


(2) 認知機能リスクの分析

認知機能リスクなしの群は、ありの群と比較し、①から⑧までのほとんどの地域活動において、「参加している」の割合が高くなっている。

地域活動に参加している高齢者は、参加していない高齢者に比べて認知機能リスクが低くなる傾向がうかがえる。

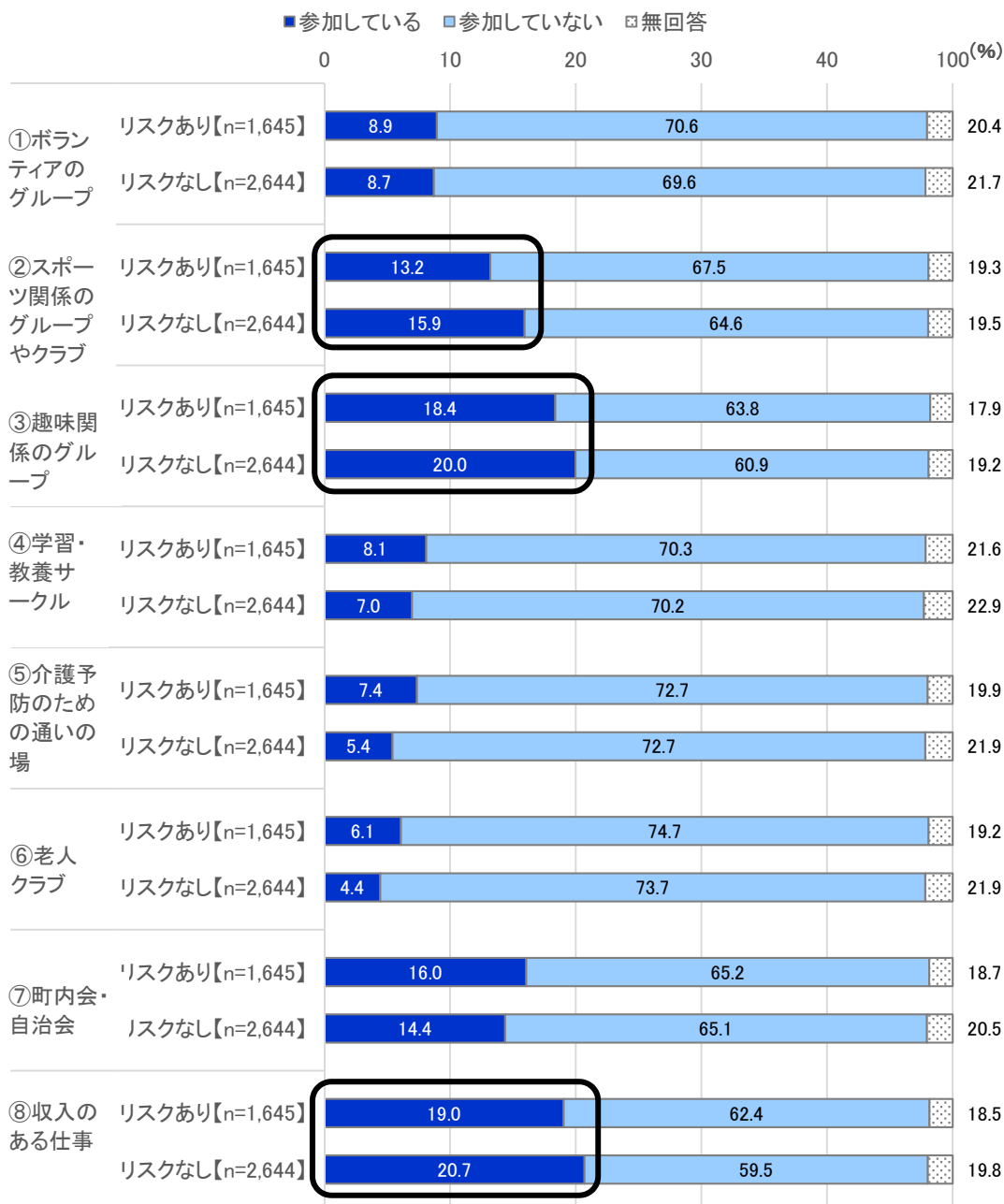
このことから、認知症リスクを減らすためには、地域活動に参加する機会を増やす必要がある。



(3) うつリスクの分析

うつリスクなしの群は、ありの群と比較し、②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループ、及び⑧収入のある仕事の地域活動において、「参加している」の割合が高くなっている。

このことから、うつリスクを減らすためには、上記に挙げた地域活動に参加する機会を増やす必要がある。

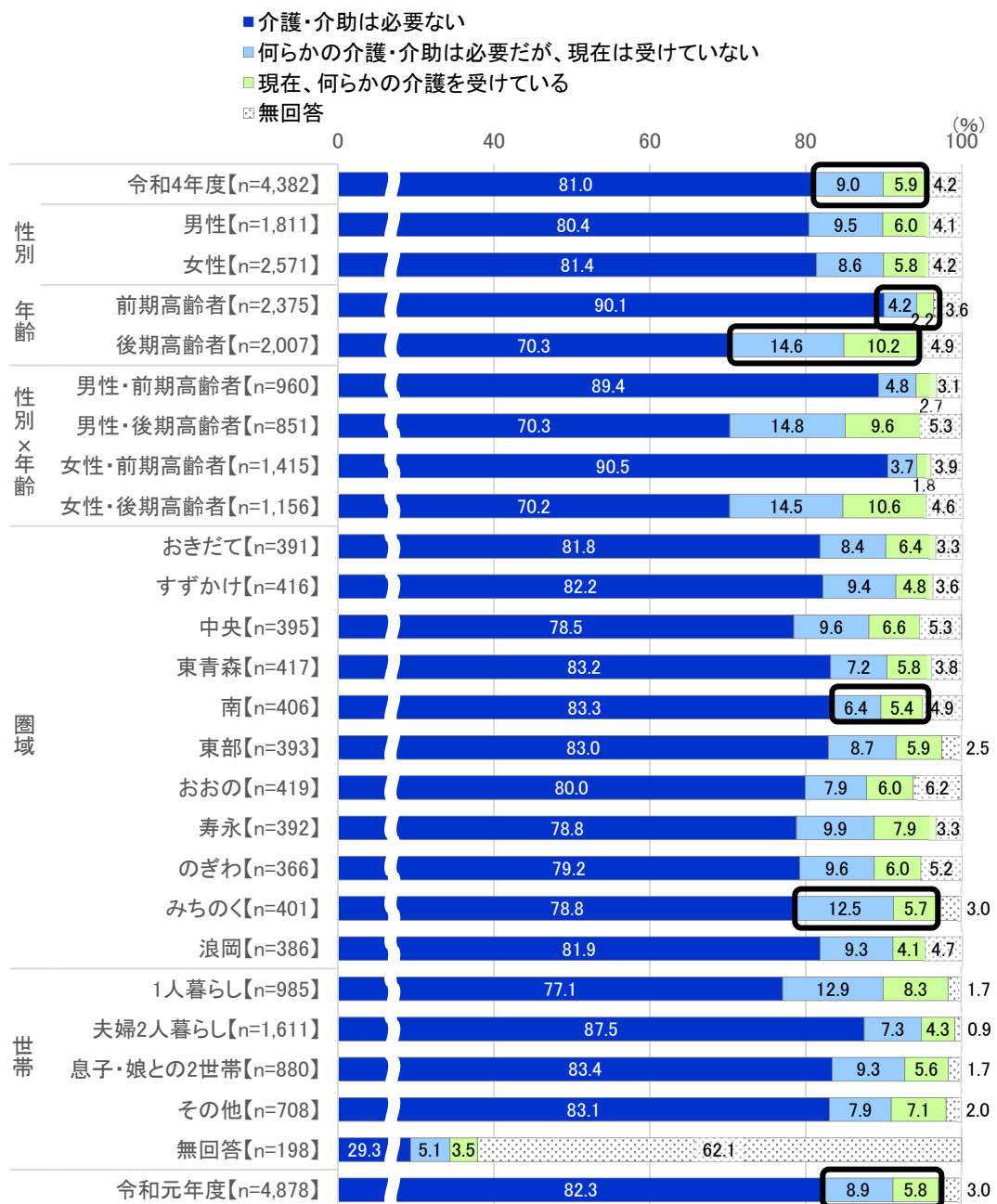


3 日常生活の介護・介助の必要性と主な原因

(1) 日常生活の介護・介助の必要性

普段の生活でどなたかの介護・介助が必要かについては、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」の割合を合わせた「介護・介助が必要」の割合は、14.9% (9.0%+5.9%) となっており、令和元年度 14.7% (8.9%+5.8%) と比べて同程度となっている。年齢別では、後期高齢者が 24.8% (14.6%+10.2%) で、前期高齢者 6.4% (4.2%+2.2%) の約 4 倍となっており、圏域では、みちのくが 18.2% (12.5%+5.7%) と最も高く、南が 11.8% (6.4%+5.4%) と最も低くなっている。

問 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



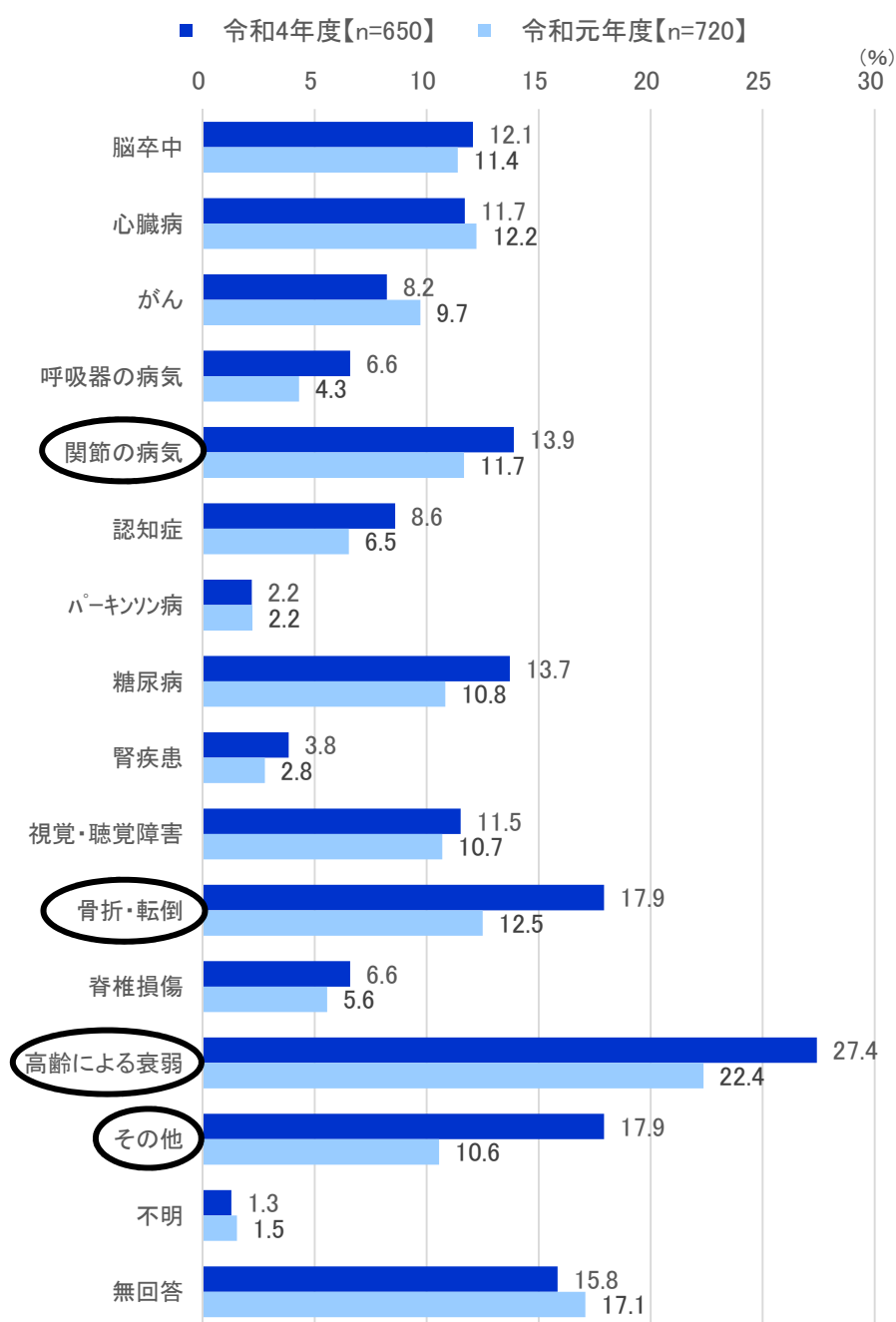
(2) 介護・介助が必要になった主な原因

(1) において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在何らかの介護を受けている」と回答した方のうち、介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」の割合が27.4%と最も高く、次いで「骨折・転倒」と「その他」が17.9%、「関節の病気」が13.9%となっている。

このことから、介護・介助が必要とならないよう、虚弱リスクを減らすための地域活動への参加、運動機能向上のための介護予防、フレイル（虚弱）の防止、生活習慣病等の疾病予防・重症化予防等について、効果的に取り組んでいく必要がある。

【(1)において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（複数回答）

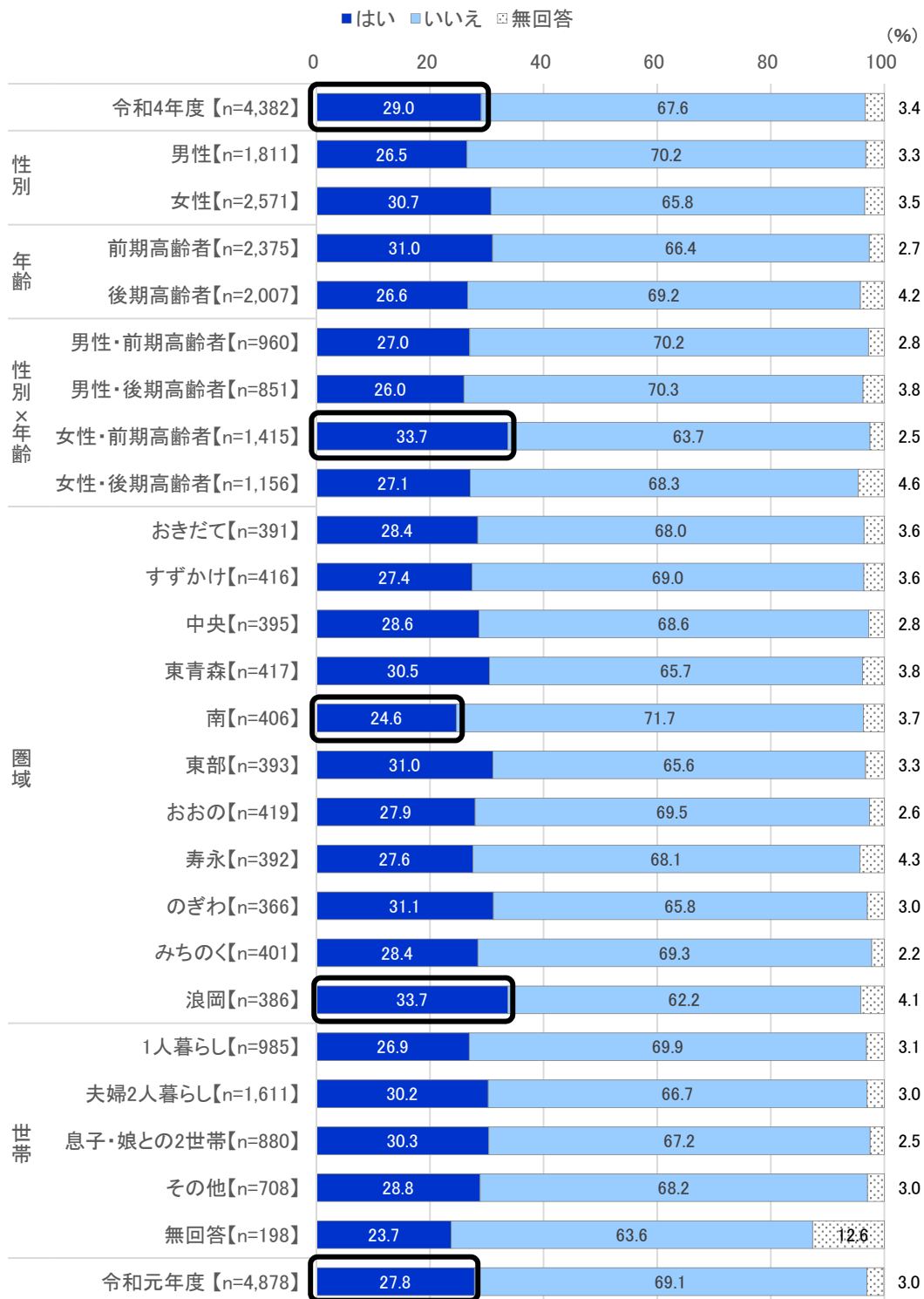


4 認知症の相談窓口

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」の割合が29.0%となっており、令和元年度27.8%に比べて増加している。

「はい」の割合は、性別・年齢では、女性・前期高齢者が33.7%と最も高くなっており、圏域では、浪岡が33.7%と最も高く、南が24.6%と最も低くなっている。

問 認知症に関する相談窓口を知っていますか



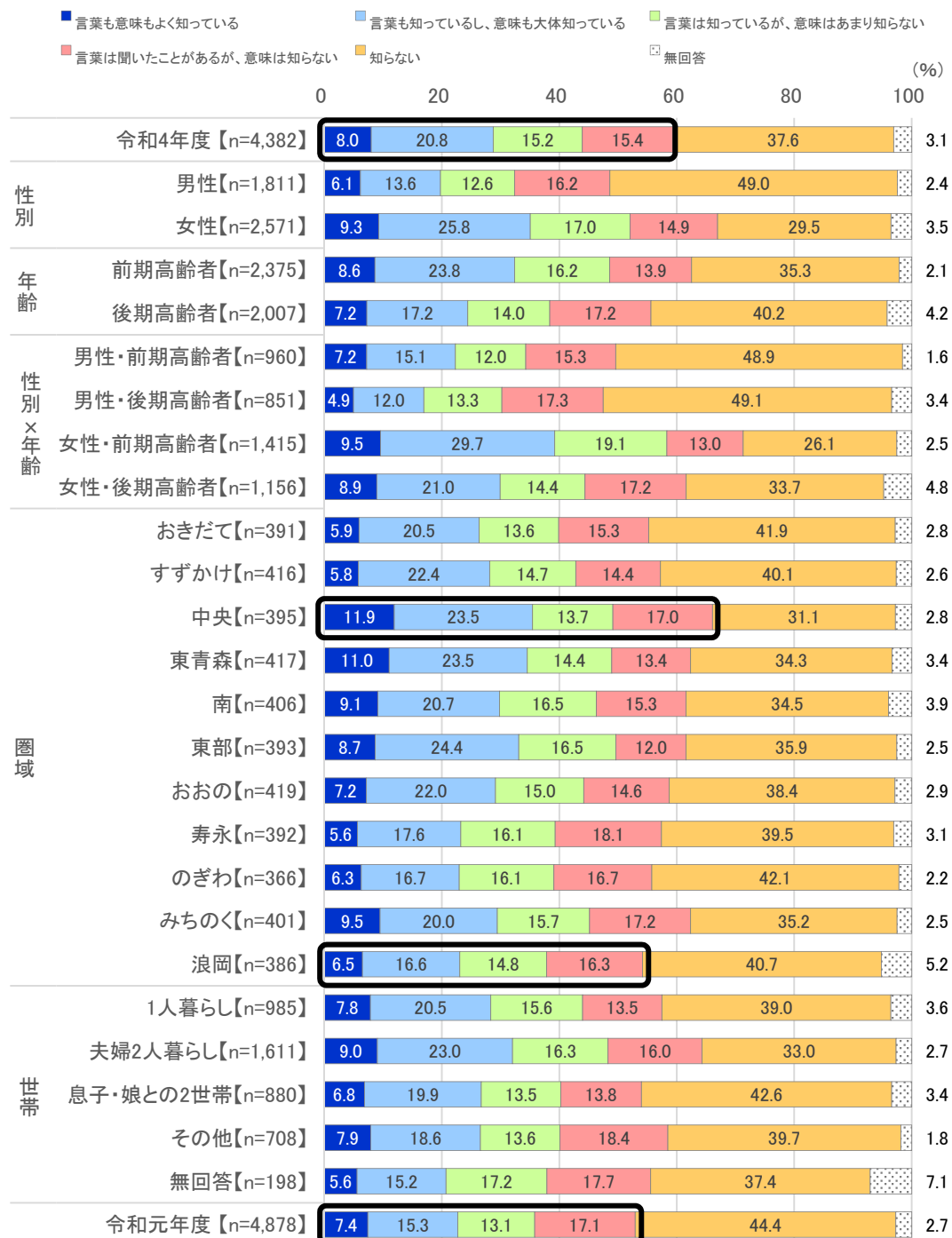
5 介護予防

(1) ロコモティブシンドロームの認識

ロコモティブシンドロームについて、「知っている」「言葉は聞いたことがある」の割合が 59.4% (8.0%+20.8%+15.2%+15.4%) となっており、令和元年度 52.9% (7.4%+15.3%+13.1%+17.1%) と比べて増加している。

「知っている」「言葉は聞いたことがある」の割合は、圏域では、中央が 66.1% (11.9%+23.5%+13.7%+17.0%) と最も高く、浪岡が 54.2% (6.3%+16.7%+14.8%+16.3%) と最も低くなっている。

問 あなたは、ロコモティブシンドローム(略称：ロコモ)を知っていますか

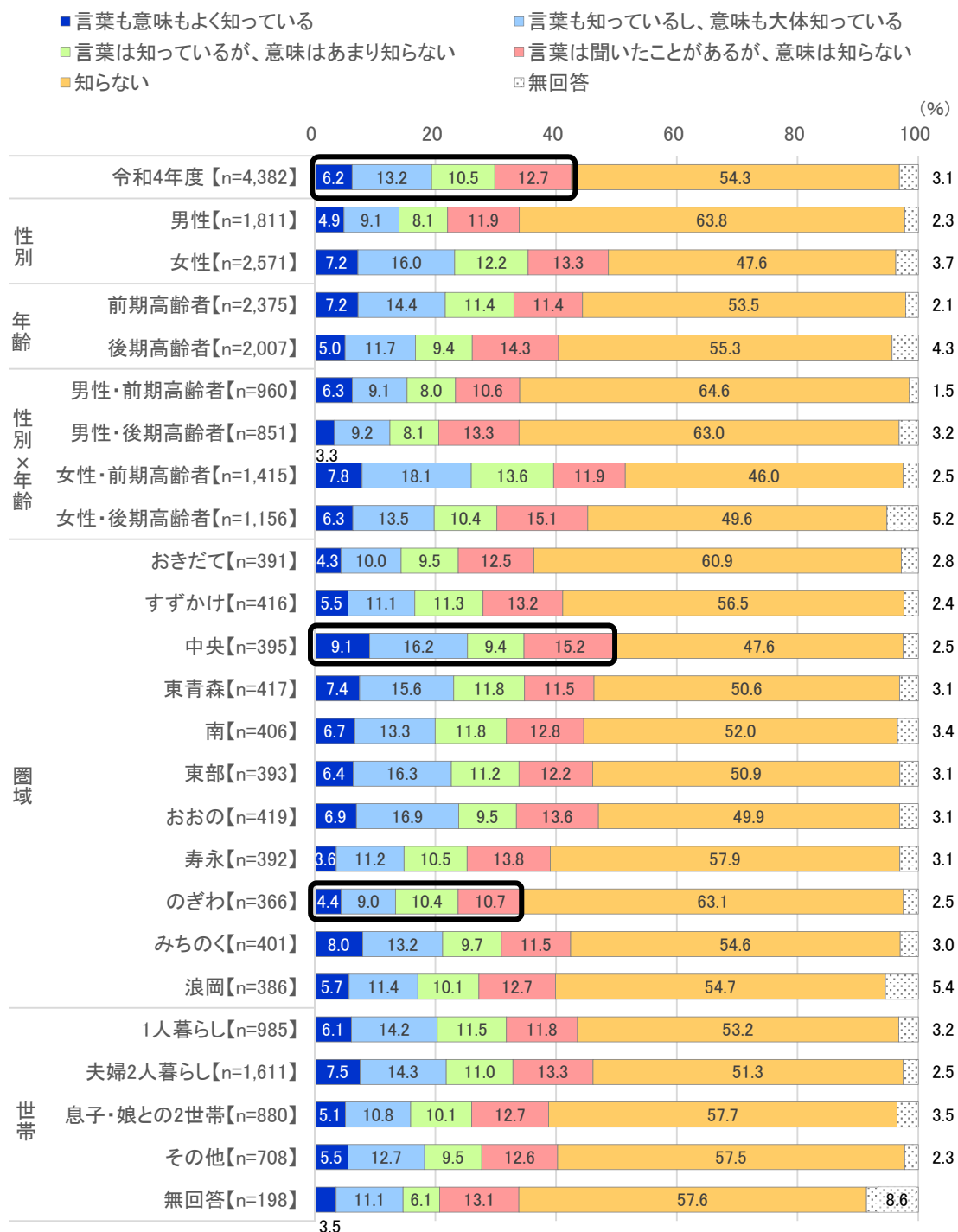


(2) フレイルの認識

フレイルについて、「知っている」「言葉は聞いたことがある」の割合が42.6% (6.2% +13.2%+10.5%+12.7%) となっている。

「知っている」「言葉は聞いたことがある」の割合は、圏域では、中央が49.9% (9.1% +16.2%+9.4%+15.2%)と最も高く、のぎわが34.5%(4.4%+9.0%+10.4%+10.7%)と最も低くなっている。

問 あなたは、フレイルを知っていますか

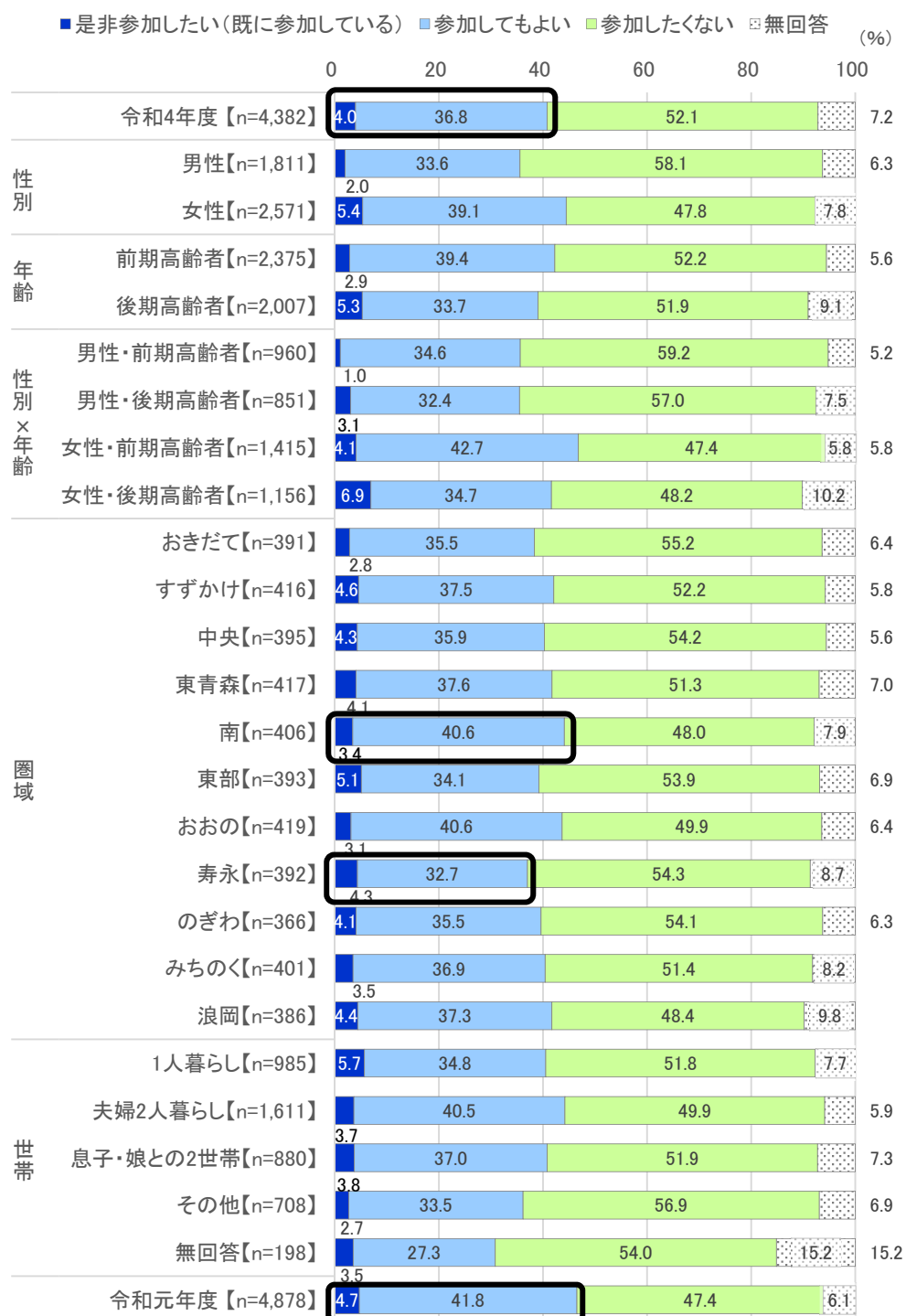


(3) ロコモ・フレイル予防活動への参加

ロコモ・フレイル予防活動について、「参加してみたい」の割合が40.8% (4.0%+36.8%) となっており、令和元年度46.5% (4.7%+41.8%) と比べて低くなっている。

「参加してみたい」の割合は、圏域では、南が44.0% (3.4%+40.6%) と最も高く、寿永が37.0% (4.3%+32.7%) と最も低くなっている。

問 地域住民の有志によって、ロコモ予防やフレイル予防のための週1回程度の集まりをつくる活動を進めていますが、あなたはその活動に参加してみたいと思いますか

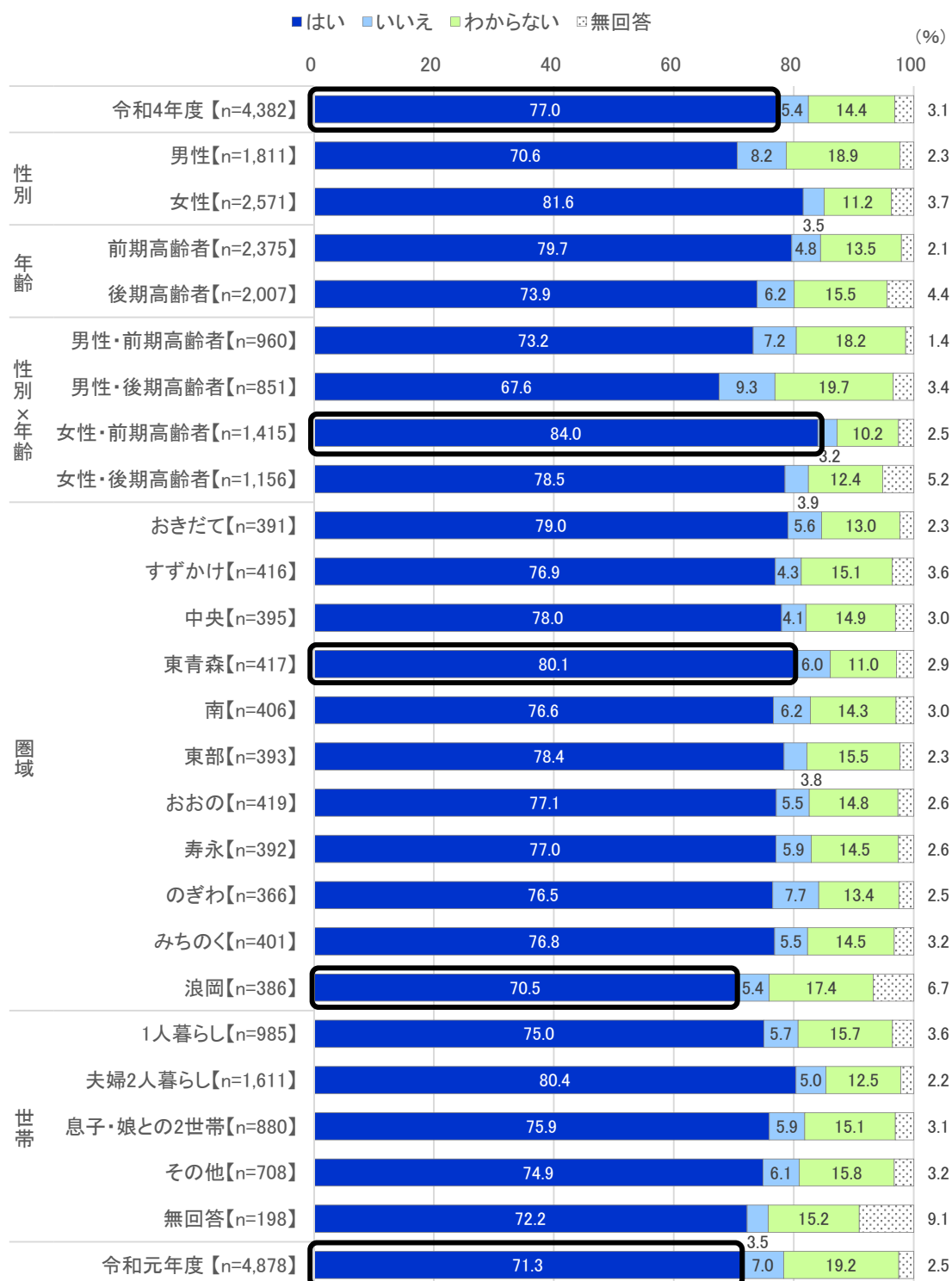


(3) 認知症予防への関心

認知症予防に関心があるかについては、「はい」の割合が77.0%となっており、令和元年度71.3%と比べて増加している。

「はい」の割合は、性別・年齢では、女性・前期高齢者が84.0%と最も高くなっており、圏域では、東青森が80.1%と最も高く、浪岡が70.5%と最も低くなっている。

問 あなたは、認知症予防に関心がありますか



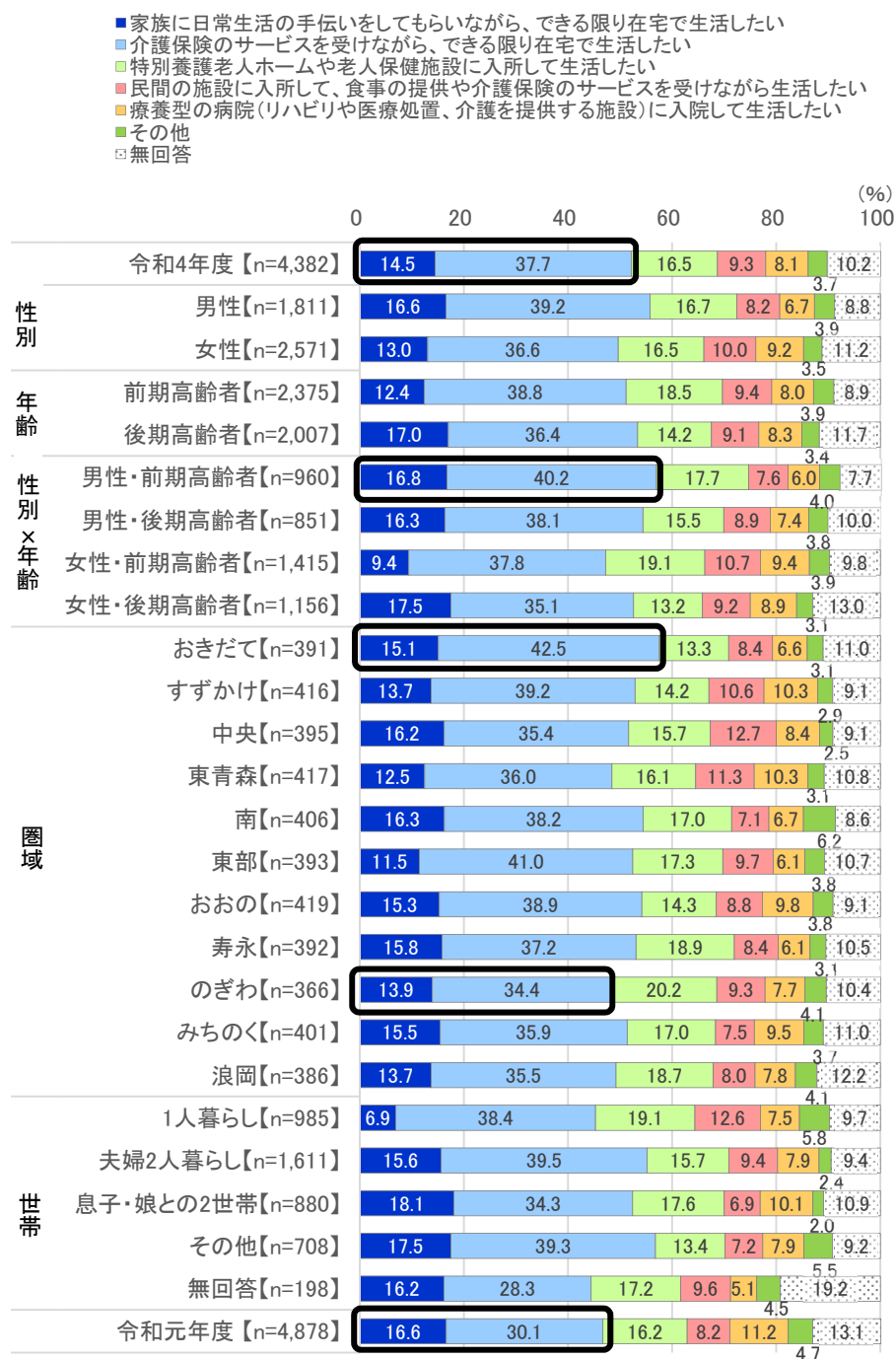
6 介護生活

(1) 介護生活に対する希望

認知症や寝たきりの状態になった場合の希望する生活については、「在宅で生活したい」の割合が52.2% (14.5%+37.7%) となっており、令和元年度46.7% (16.6%+30.1%) と比べて増加している。

「在宅で生活したい」の割合は、性別・年齢では、男性・前期高齢者が57.0% (16.8%+40.2%) と最も高くなっており、圏域では、おきだてが57.6% (15.1%+42.5%) と最も高く、のぎわが48.3% (13.9%+34.4%) と最も低くなっている。

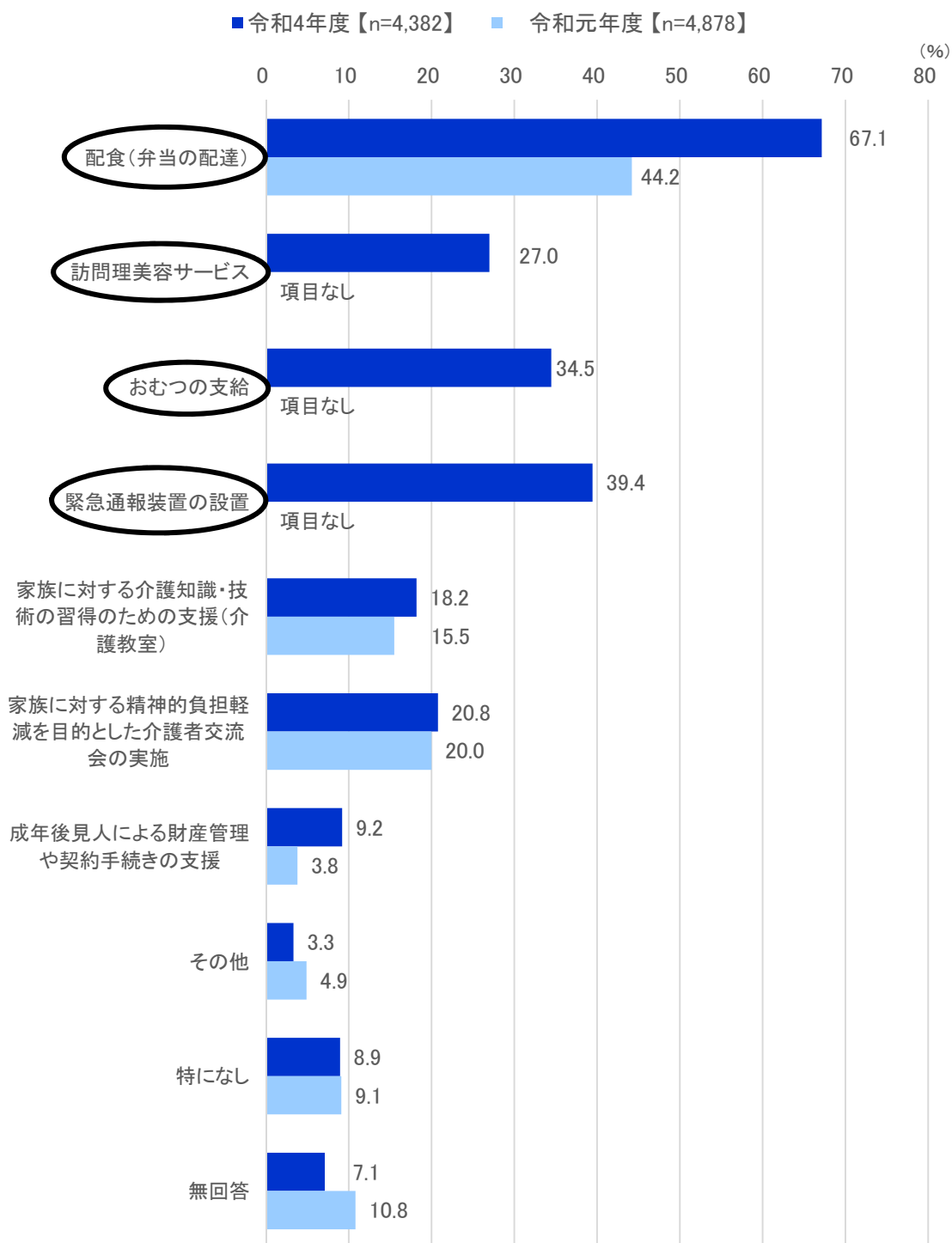
問 今後、もしあなたが認知症や寝たきりの状態になった場合、どのようにして自分らしい生活を続けたいですか



(2) 介護生活に必要な支援

認知症や寝たきりの状態になった場合、現在の住まいで生活するために必要と思われる支援については「配食」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」が 39.4%、「おむつの支給」が 34.5%、「訪問理美容サービス」が 27.0%となっている。

問 今後、もしあなたが認知症や寝たきりの状態になった場合、現在の住まいで生活するために、必要と思われる支援はどれですか（5 つまで回答）



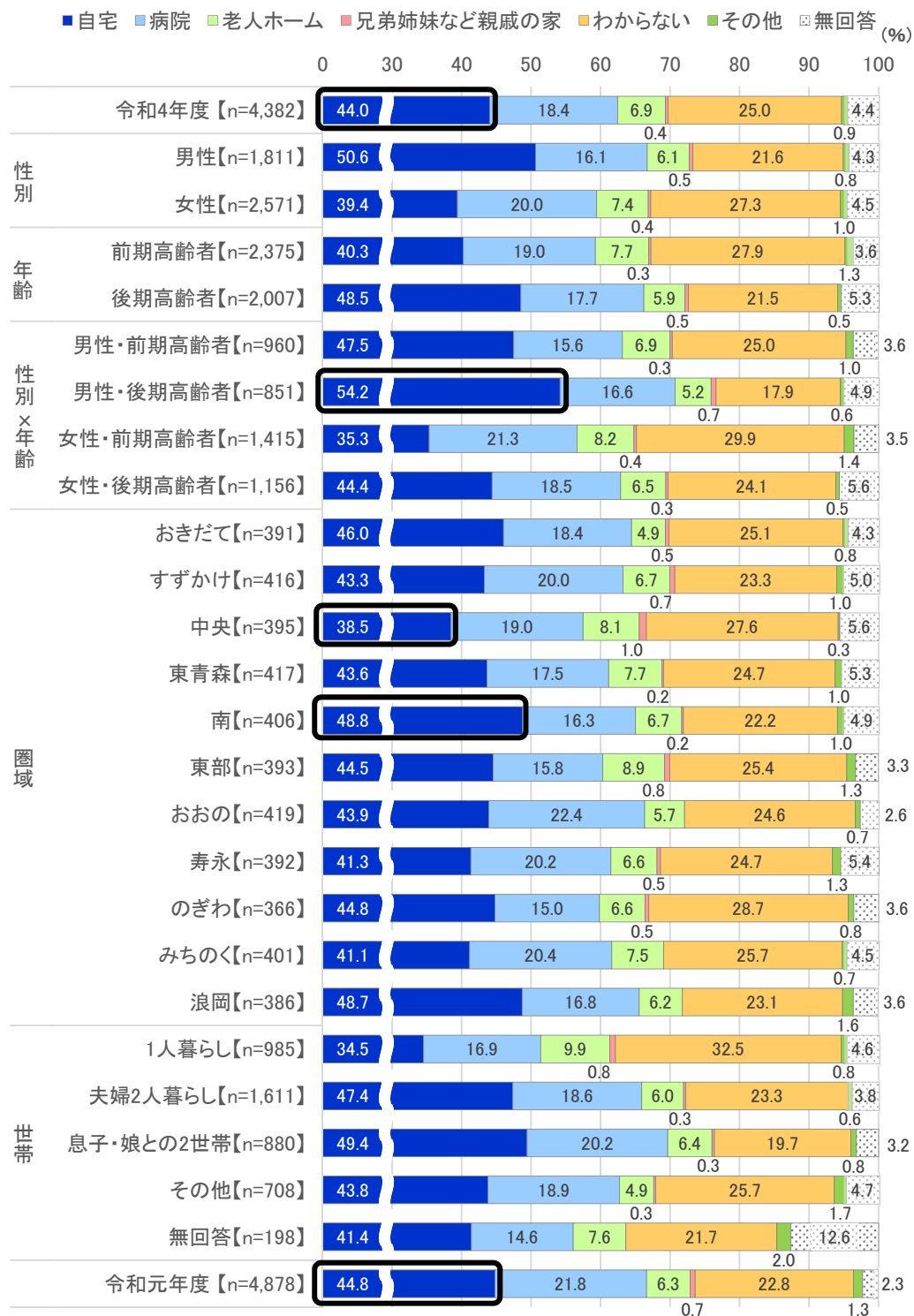
※令和4年度は選択回答数「3 つまで」、令和元年度は選択回答数「5 つまで」となっている。

(3) 最期を迎えたいと思う場所

どこで最期を迎えたいと思うかについては、「自宅」の割合が44.0%と最も高くなっており、令和元年度44.8%と比べて同程度となっている。

「自宅」の割合は、性別・年齢では、男性・後期高齢者が54.2%と最も高くなっており、圏域では、南が48.8%と最も高く、中央が38.5%と最も低くなっている。

問 あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか

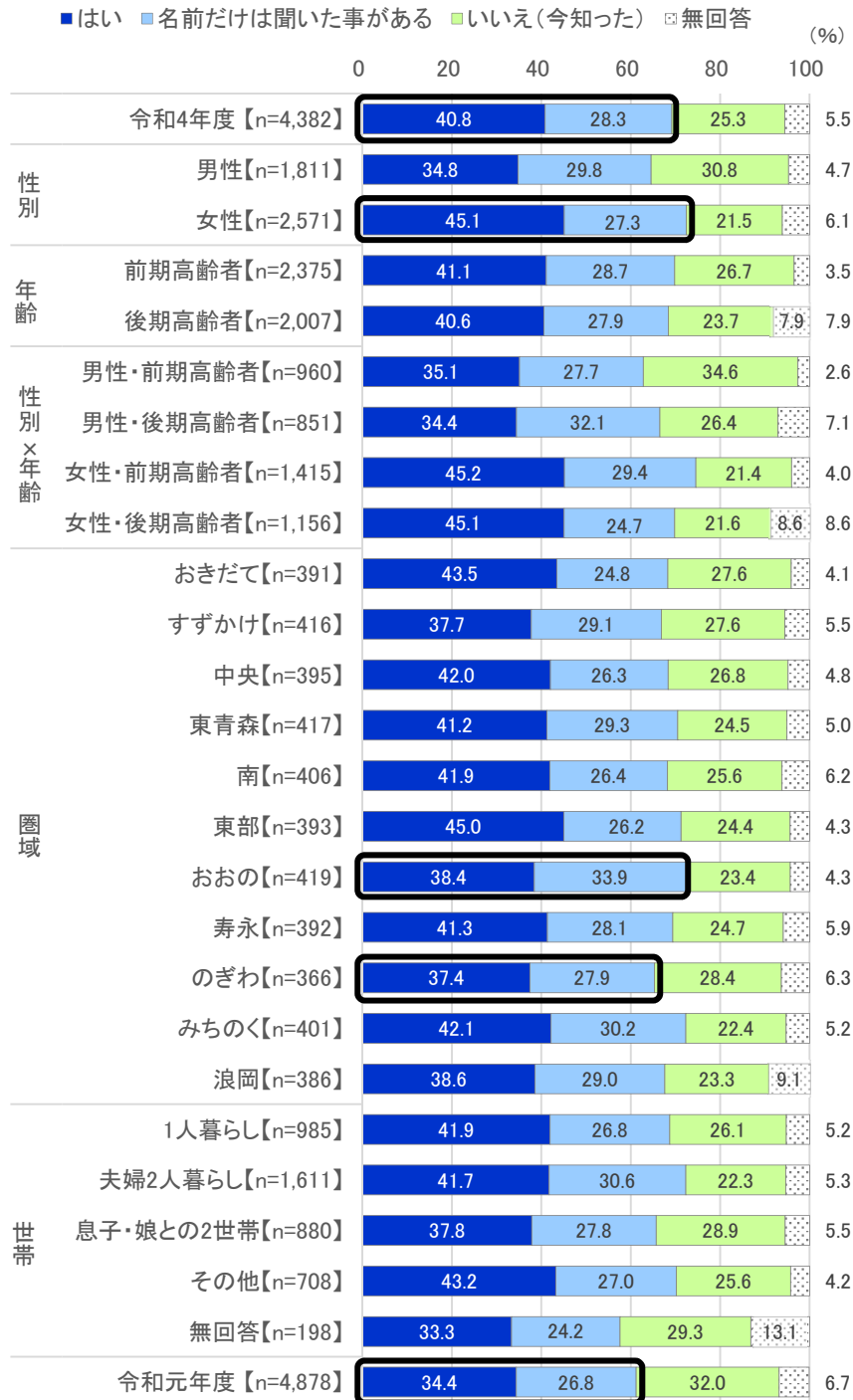


7 地域包括支援センター

地域包括支援センターを知っているかについては、「はい」「名前だけは聞いた事がある」の割合が 69.1% (40.8%+28.3%) となっており、令和元年度 61.2% (34.4%+26.8%) と比べて増加している。

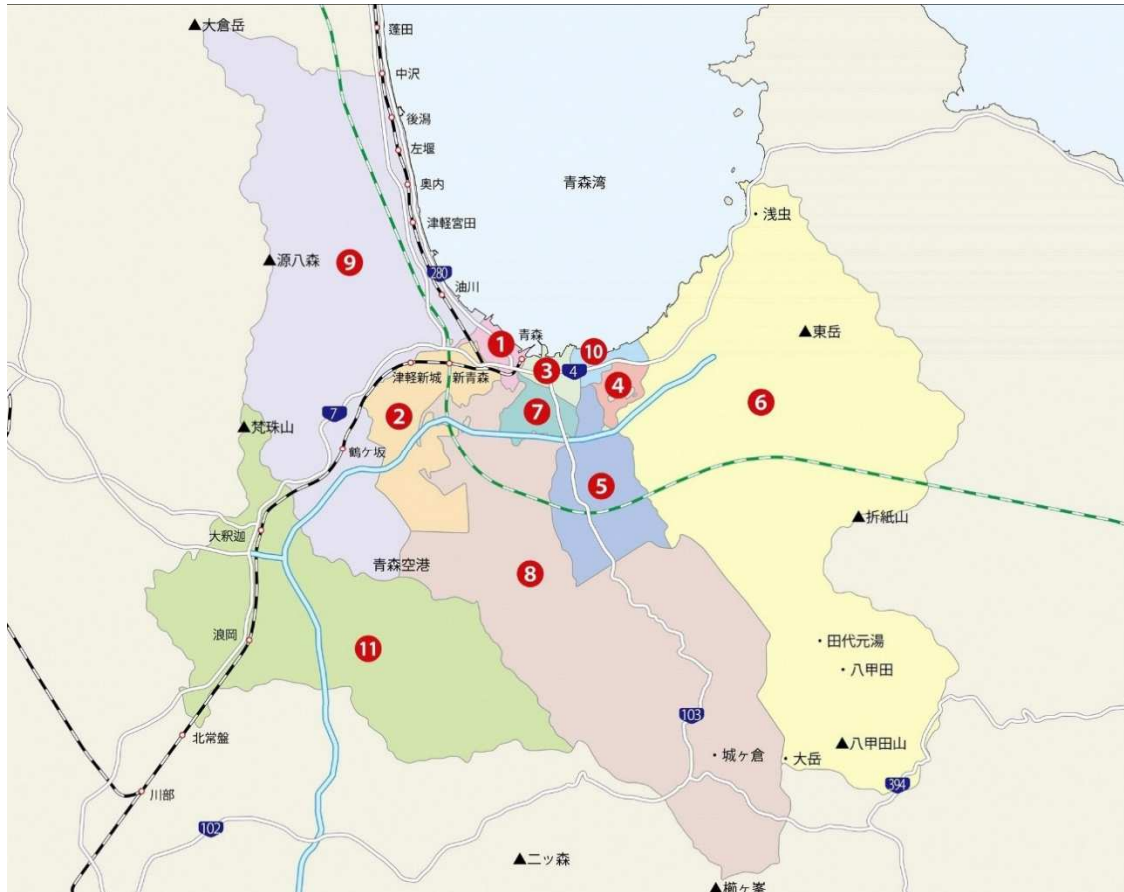
「はい」「名前だけは聞いた事がある」の割合は、性別では、女性が 72.4% (45.1%+27.3%) と高く、年齢では、前期・後期高齢者とも同程度となっている。圏域では、おおのが 72.3% (38.4%+33.9%) と最も高く、のぎわが 65.3% (37.4%+27.9%) と最も低くなっている。

問 地域の高齢者相談の窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか



8 日常生活圏域の状況

青森市における日常生活圏の設定



名称	圏域内住所
① 地域包括支援センターおきだて	柳川、千富町1丁目、沖館、富田、新田、篠田、千刈、久須志
② 地域包括支援センターすずかけ	西滝、里見、三内、岩渡、新城平岡、石江、三好
③ 中央地域包括支援センター	堤町、青柳、橋本、中央、本町、松原、勝田、長島、古川、新町、安方、奥野
④ 東青森地域包括支援センター	はまなす、けやき、岡造道、小柳、古館、松森2・3丁目、佃2・3丁目、中佃、南佃、虹ヶ丘、浜館1～6丁目、自由ヶ丘
⑤ 南地域包括支援センター	筒井、幸畑、田茂木野、桜川(1丁目を除く)、横内、雲谷、四ツ石、大矢沢、野尻、合子沢、新町野、問屋町、卸町、妙見
⑥ 東部地域包括支援センター	野内、久栗坂、浅虫、宮田、馬屋尻、三本木、滝沢、矢田、矢作、本泉、原別、平新田、後港、泉野、矢田前、八幡林、戸崎、諏訪沢、築木館、桑原、戸山、沢山、駒込、浜館(1～6丁目を除く)、田屋敷、赤坂、蛭沢、月見野
⑦ おおの地域包括支援センター	桂木、緑、青葉、北金沢1丁目、金沢1・3～4丁目、旭町、浦町、浜田、東大野、西大野、大野
⑧ 地域包括支援センター寿永	北金沢2丁目、金沢2・5丁目、千富町2丁目、細越、安田、浪館前田、浪館、牛館、第二問屋町、高田、大谷、小館、入内、野沢、荒川、八ツ役、金浜、大別内、野木、上野
⑨ 地域包括支援センターのぎわ	孫内、新城山田、新城福田、新城天田内、岡町、戸門、鶴ヶ坂、油川、羽白、西田沢、飛鳥、瀬戸子、奥内、前田、清水、内真部、四戸橋、後潟、六枚橋、小橋、左堰
⑩ 地域包括支援センターみちのく	浪打、港町、茶屋町、栄町、合浦、花園、造道、東造道、八重田、松森1丁目、佃1丁目、桜川1丁目
⑪ 地域包括支援センター浪岡	浪岡、五本松、王余魚沢、女鹿沢、下十川、増館、樽沢、銀、郷山前、吉野田、下石川、杉沢、浪岡福田、高屋敷、徳才子、大沢迦、長沼、北中野、吉内、本郷、相沢、細野

(1) おきだて

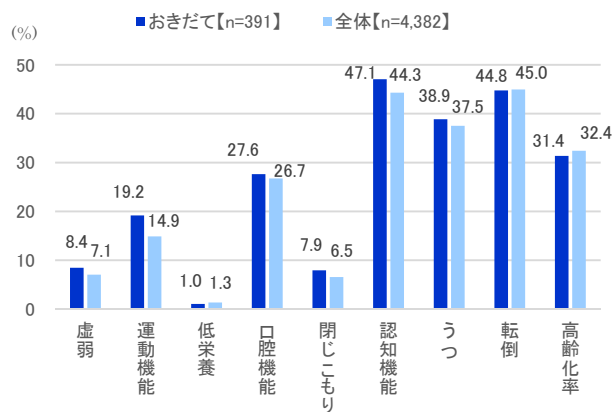
リスク該当者割合については、「認知機能」の割合が47.1%と最も高く、次いで「転倒」が44.8%、「うつ」が38.9%となっている。全体（市の平均）と比べると、「運動機能」と「認知機能」の割合が全体よりも高くなっており、これら以外のリスクは、全体と同程度となっている。高齢化率については、31.4%と全体と比べ同程度となっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が29.4%と最も高く、高齢者のみの世帯は52.2%（22.8%+29.4%）となっている。

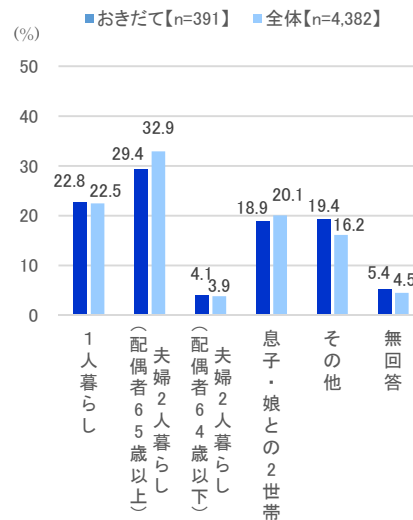
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が68.2%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」が41.6%、「おむつの支給」が32.9%、「訪問理美容サービス」が25.0%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が44.4%と最も高く、次いで「高脂血症」が20.5%、「目の病気」が18.9%となっている。

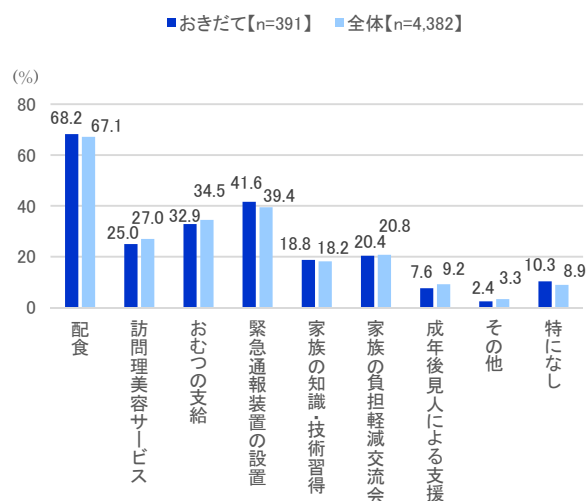
リスク該当者割合・高齢化率



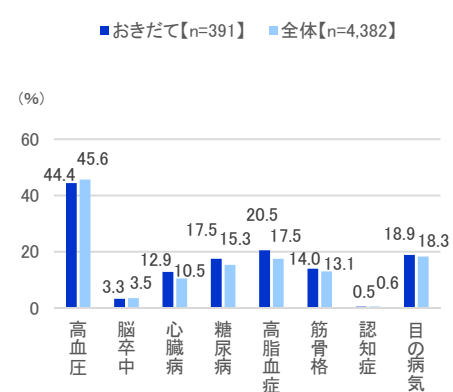
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(2) すずかけ

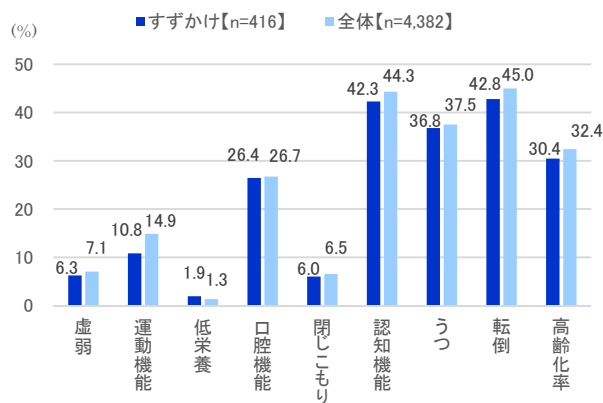
リスク該当者割合については、「転倒」の割合が42.8%と最も高く、次いで「認知機能」が42.3%、「うつ」が36.8%となっている。全体（市の平均）と比べると、「運動機能」「認知機能」「転倒」の割合が全体よりも低くなっており、これら以外のリスクは全体と同程度か低くなっている。高齢化率については、30.2%と全体と比べ低くなっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が40.1%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が19.5%となっており、高齢者のみの世帯は57.9%（17.8%+40.1%）となっている。

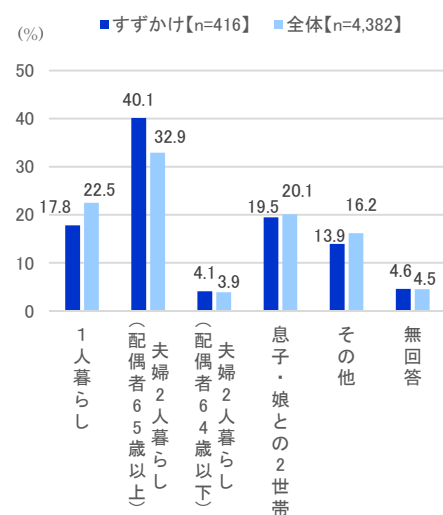
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が67.9%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」が42.4%、「おむつの支給」が36.8%、「訪問理美容サービス」が23.7%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が46.6%と最も高く、次いで「目の病気」が17.8%、「糖尿病」が15.3%となっている。

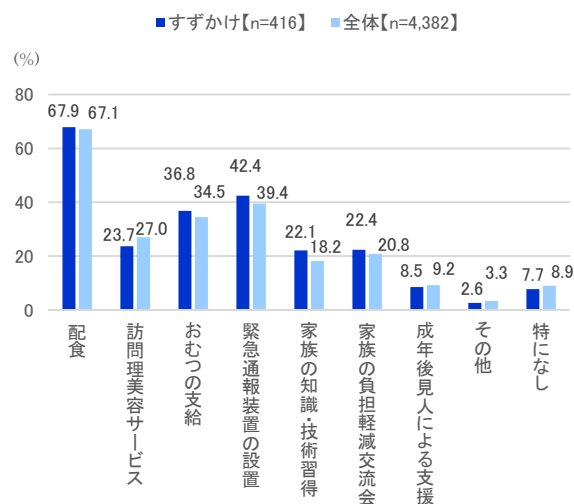
リスク該当者割合・高齢化率



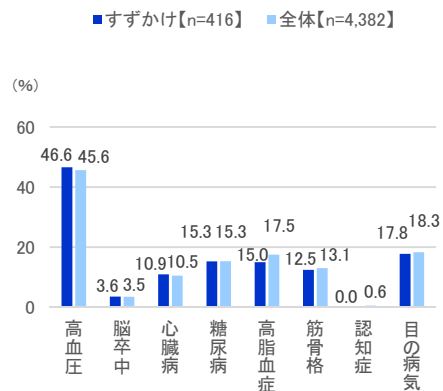
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(3) 中央

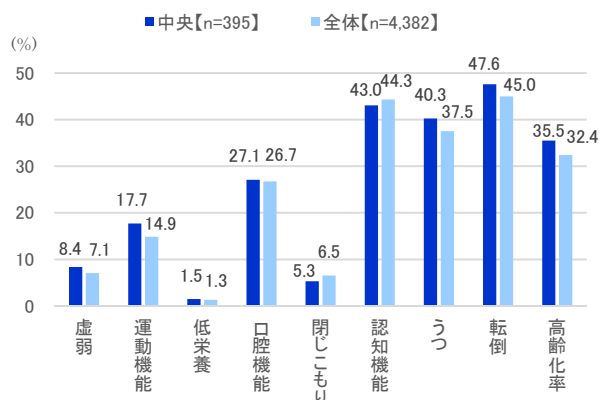
リスク該当者割合については、「転倒」の割合が47.6%と最も高く、次いで「認知機能」が43.0%、「うつ」が40.3%となっている。全体（市の平均）と比べると、「運動機能」「うつ」「転倒」の割合が全体よりも高くなっており、これら以外のリスクは全体と同程度となっている。高齢化率については、35.5%と全体と比べ高くなっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が32.4%と最も高く、次いで「1人暮らし」が27.3%となっており、高齢者のみの世帯は59.7%（27.3%+32.4%）となっている。

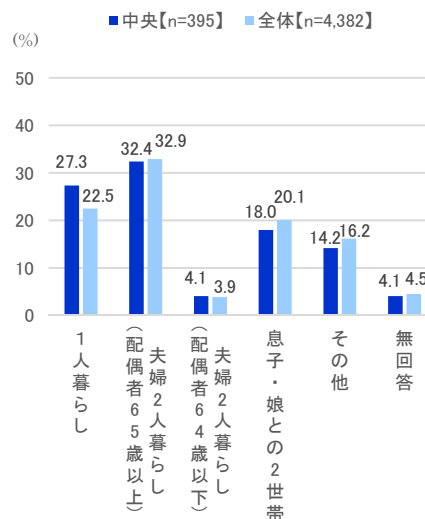
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が70.3%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」が41.1%、「訪問理美容サービス」が27.5%、「おむつの支給」が27.0%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が47.7%と最も高く、次いで「高脂血症」が20.3%、「目の病気」が18.6%となっている。

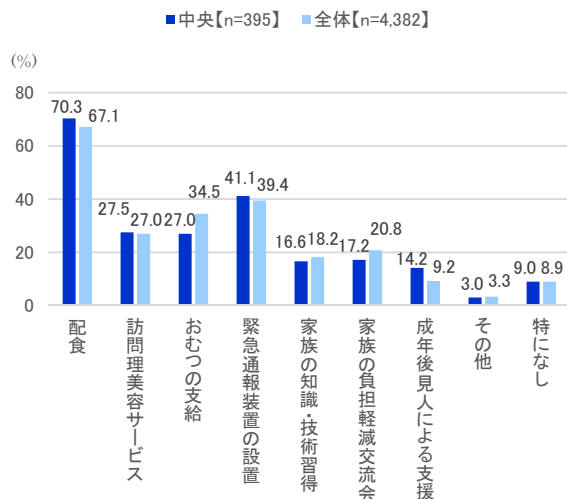
リスク該当者割合・高齢化率



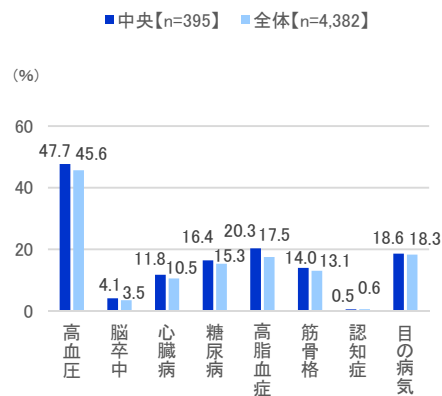
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(4) 東青森

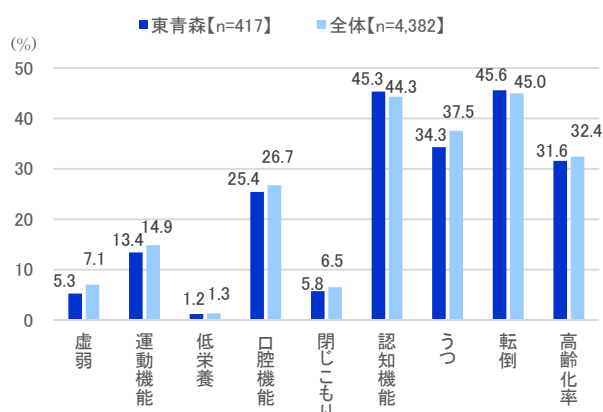
リスク該当者割合については、「転倒」の割合が45.6%と最も高く、次いで「認知機能」が45.3%、「うつ」が34.3%と高くなっている。全体（市の平均）と比べると、「認知機能」及び「転倒」の割合が全体よりも高くなっており、これら以外のリスクは概ね全体と同程度か低くなっている。高齢化率については、31.6%と全体と比べ低くなっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が38.6%と最も高く、次いで「1人暮らし」が22.1%となっており、高齢者のみの世帯は60.7%（22.1%+38.6%）となっている。

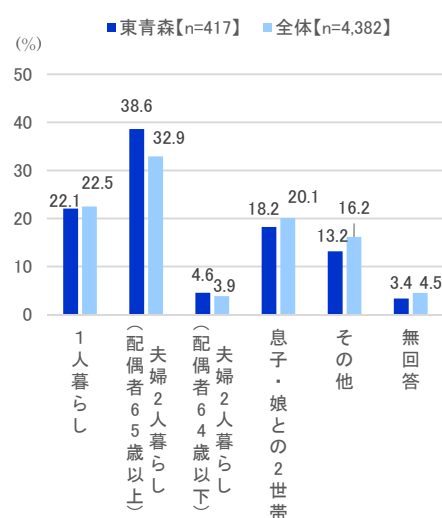
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が64.8%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」が42.5%、「おむつの支給」が31.1%、「訪問理美容サービス」が29.0%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が46.4%と最も高く、次いで「目の病気」が22.4%、「高脂血症」が20.9%となっている。

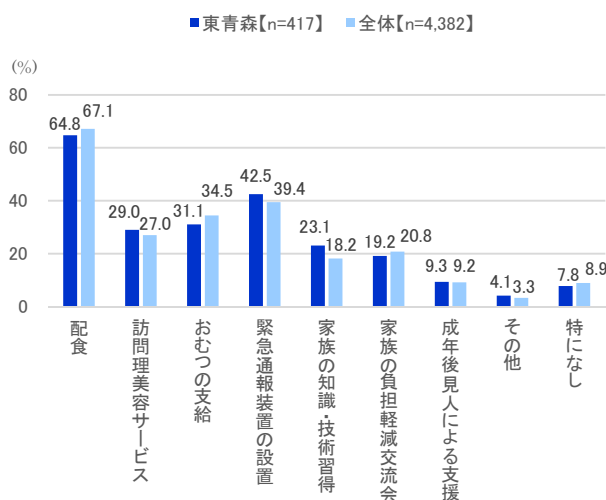
リスク該当者割合・高齢化率



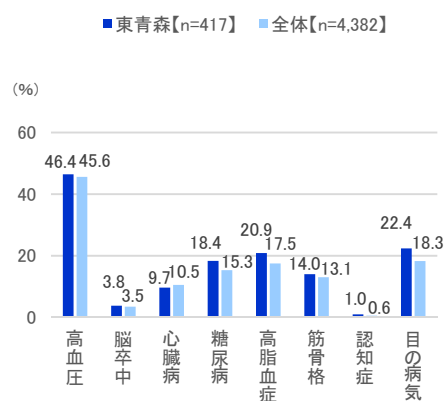
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(5) 南

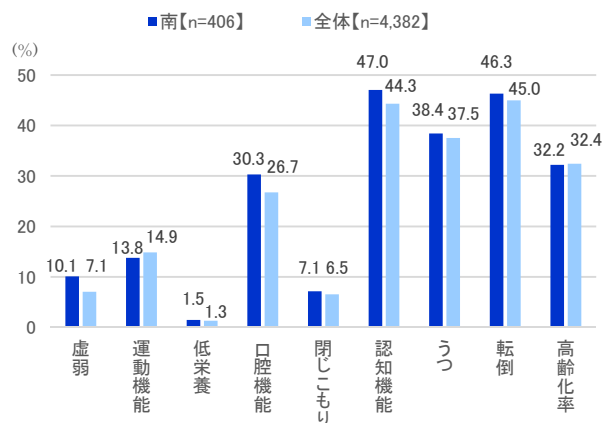
リスク該当者割合については、「認知機能」の割合が47.0%と最も高く、次いで「転倒」が46.3%、「うつ」が38.4%となっている。全体（市の平均）と比べると、「虚弱」「口腔機能」「認知機能」の割合が全体と比べ高くなっており、これら以外のリスクは全体と同程度か低くなっている。高齢化率については、32.2%と全体と同程度となっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が37.9%と最も高く、次いで「1人暮らし」が21.2%となっており、高齢者のみの世帯は59.1%（21.2%+37.9%）となっている。

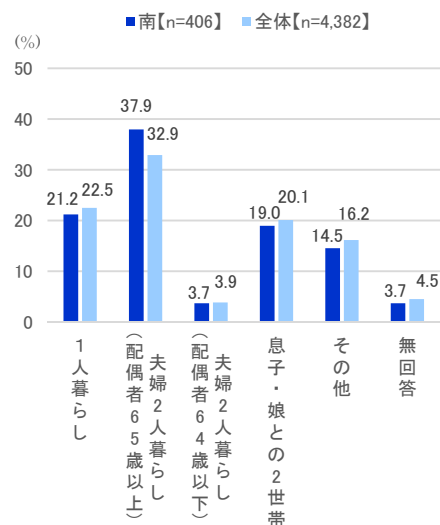
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が69.5%と最も高く、次いで「おむつの支給」が36.4%、「緊急通報装置の設置」が35.3%、「訪問理美容サービス」が32.1%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が47.1%と最も高く、次いで「目の病気」が22.2%、「筋骨格」が17.2%となっている。

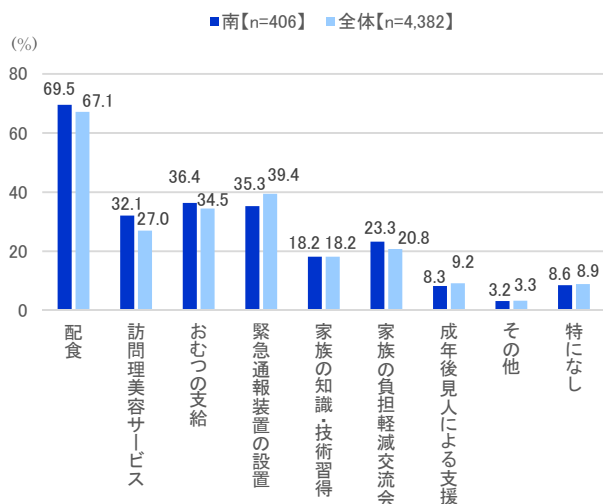
リスク該当者割合・高齢化率



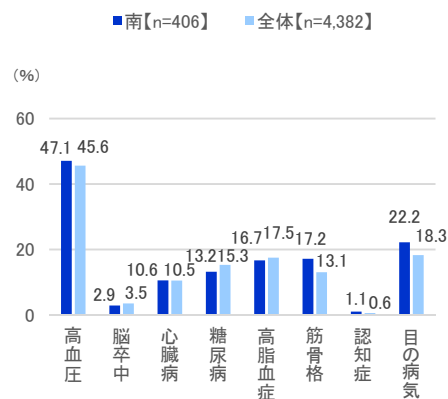
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(6) 東部

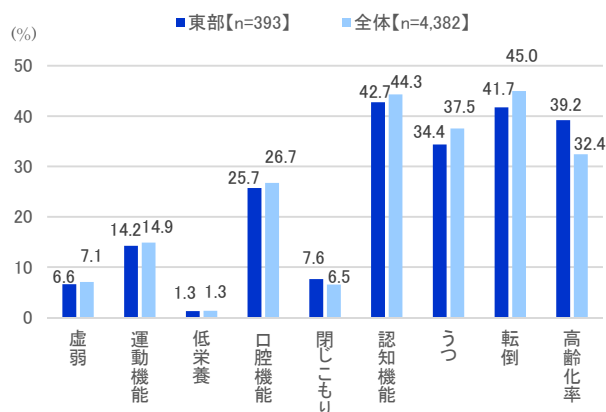
リスク該当者割合については、「認知機能」の割合が42.7%と最も高く、次いで「転倒」が41.7%、「うつ」が34.4%となっている。全体（市の平均）と比べると、「うつ」「転倒」の割合が全体よりも低くなっており、これら以外のリスクは全体と同程度か低くなっている。高齢化率については、39.2%と全体と同程度となっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が34.9%と最も高く、次いで「1人暮らし」が21.6%となっており、高齢者のみの世帯は56.5%（21.6%+34.9%）となっている。

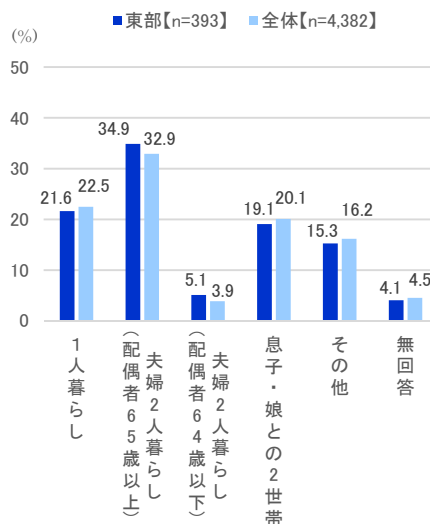
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が65.4%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」が39.8%、「おむつの支給」が36.0%、「訪問理美容サービス」が26.7%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が48.3%と最も高く、次いで「糖尿病」が18.4%、「高脂血症」が17.6%となっている。

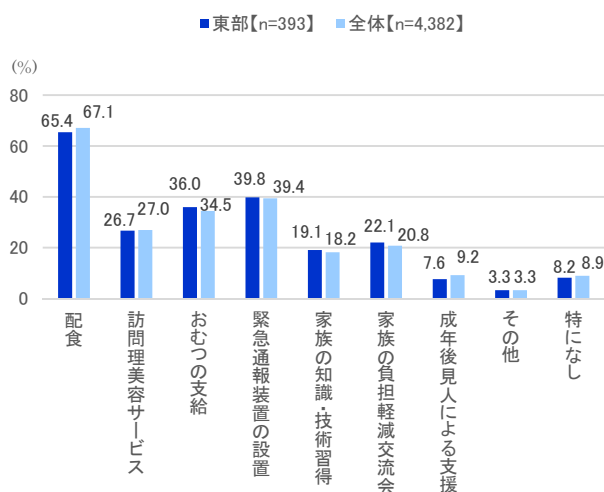
リスク該当者割合・高齢化率



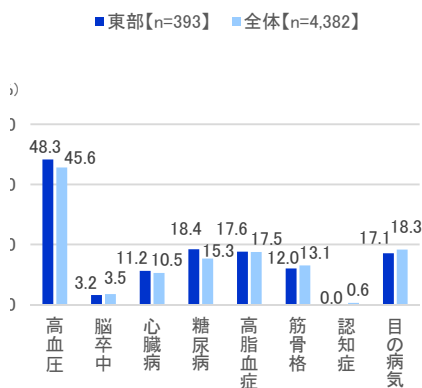
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(7) おおの

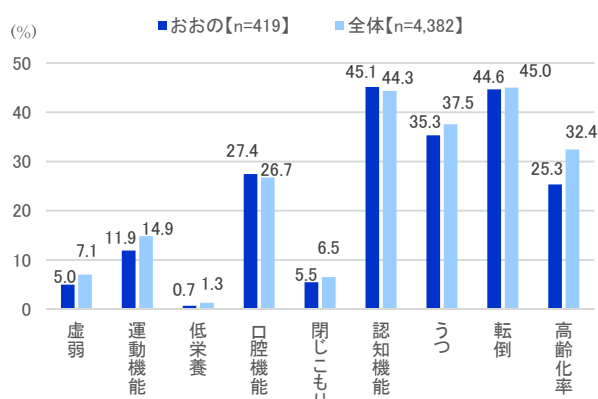
リスク該当者割合については、「認知機能」の割合が45.1%と最も高く、次いで「転倒」が44.6%、「うつ」が35.3%となっている。全体（市の平均）と比べると、「うつ」と「運動機能」の割合が全体よりも低くなっており、これら以外のリスクは同程度の割合となっている。高齢化率については、25.3%と全体と比べ低くなっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が33.4%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が21.5%となっており、高齢者のみの世帯は52.0%（18.6%+33.4%）となっている。

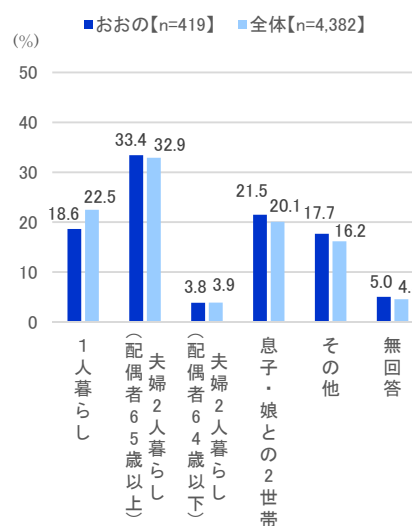
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が66.2%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」が37.4%、「おむつの支給」が32.3%、「訪問理美容サービス」が25.8%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が52.5%と最も高く、次いで「高脂血症」が23.4%、「目の病気」が19.8%となっている。

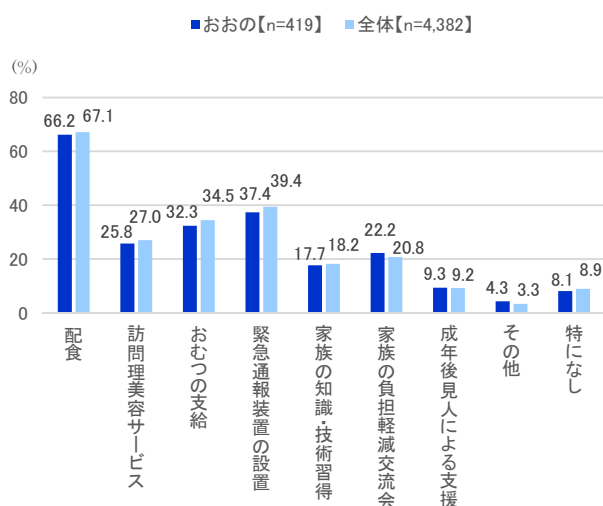
リスク該当者割合・高齢化率



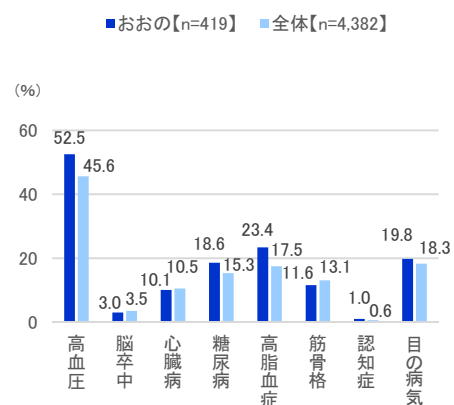
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(8) 寿永

リスク該当者割合については、「転倒」の割合が45.2%と最も高く、次いで「認知機能」が43.4%、「うつ」が40.8%となっている。全体（市の平均）と比べると、「うつ」の割合が全体よりも高くなっており、これ以外のリスクは全体と同程度となっている。

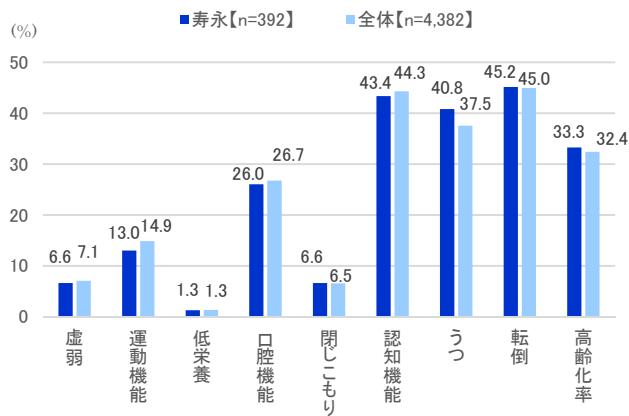
高齢化率については、33.3%と全体と比べ同程度となっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が29.3%と最も高く、次いで「1人暮らし」が25.8%となっており、高齢者のみの世帯は55.1%（25.8%+29.3%）となっている。

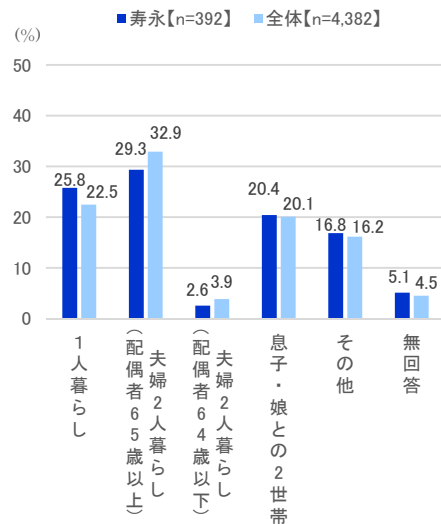
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が65.3%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」が39.1%、「おむつの支給」が37.7%、「訪問理美容サービス」が24.8%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が46.3%と最も高く、次いで「目の病気」が19.3%、「高脂血症」が17.2%となっている。

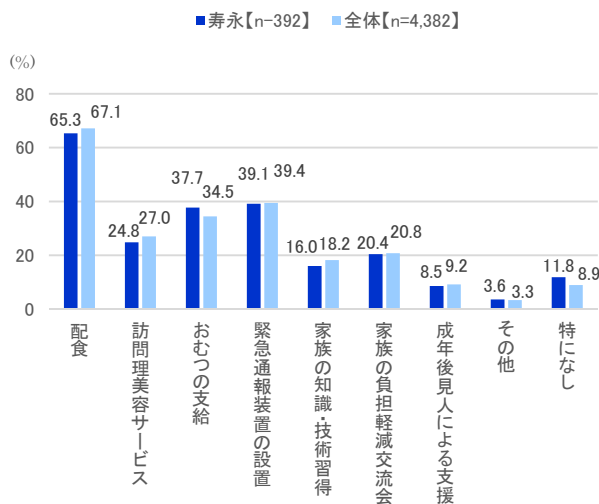
リスク該当者割合・高齢化率



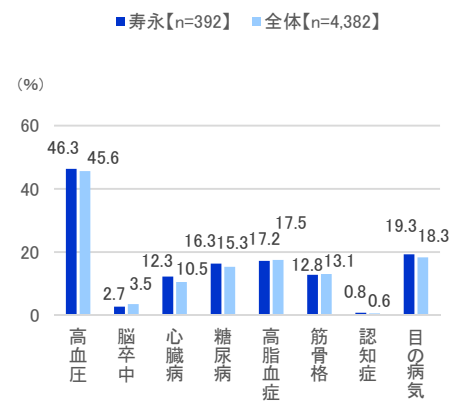
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(9) のぎわ

リスク該当者割合については、「認知機能」の割合が51.4%と最も高く、次いで「転倒」が43.7%、「うつ」が35.5%となっている。全体（市の平均）と比べると、「運動機能」「認知機能」の割合が全体よりも高くなっており、これら以外のリスクは全体と同程度か低くなっている。

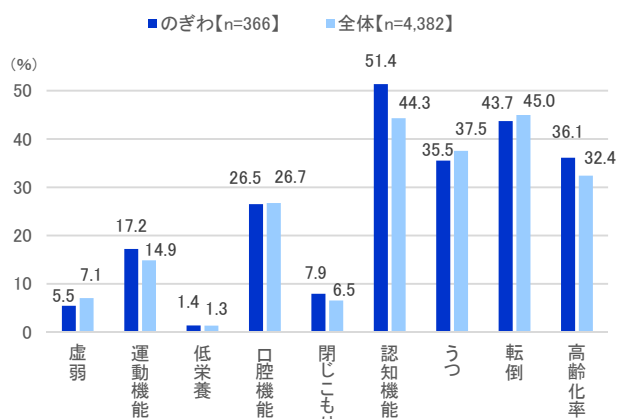
高齢化率については、36.1%と全体と比べ同程度となっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が28.4%と最も高く、次いで「1人暮らし」が26.0%となっており、高齢者のみの世帯は54.4%（26.0%+28.4%）となっている。

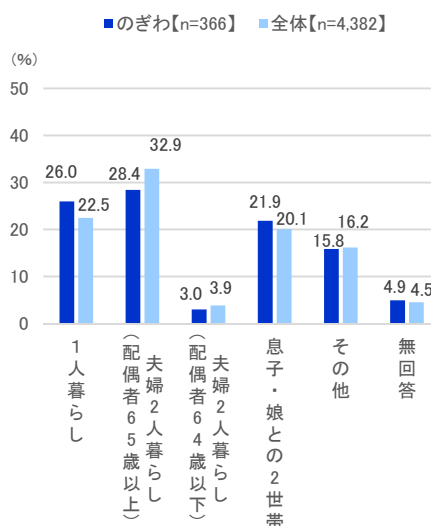
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が68.1%と最も高く、次いで「おむつの支給」が39.5%、「緊急通報装置の設置」が38.1%、「訪問理美容サービス」が22.4%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が53.0%と最も高く、次いで「高脂血症」「目の病気」が17.9%となっている。

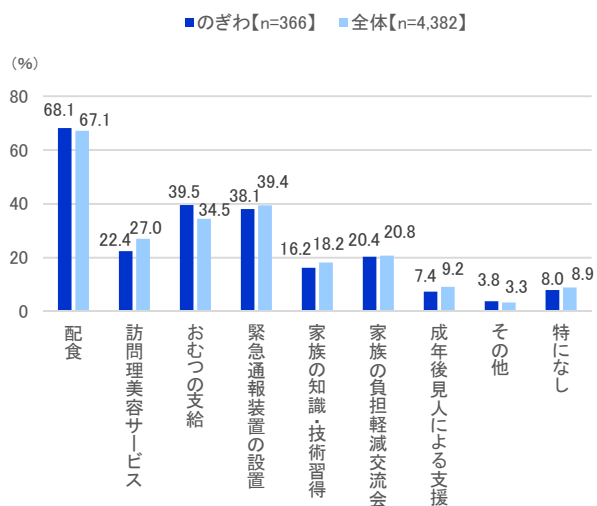
リスク該当者割合・高齢化率



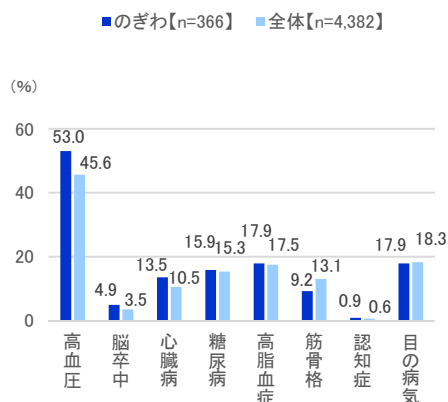
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(10) みちのく

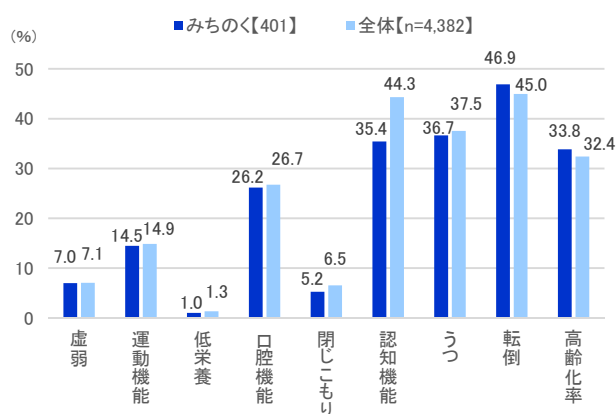
リスク該当者割合については、「転倒」の割合が46.9%と最も高く、次いで「うつ」が36.7%、「認知機能」が35.4%となっている。全体（市の平均）と比べると、「認知機能」の割合が低くなっており、全体よりも高くなっており、これら以外のリスクは全体と同程度か低くなっている。高齢化率については、33.8%と全体と比べ、やや高くなっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が31.4%と最も高く、次いで「1人暮らし」が25.7%となっており、高齢者のみの世帯は57.1%（25.7%+31.4%）となっている。

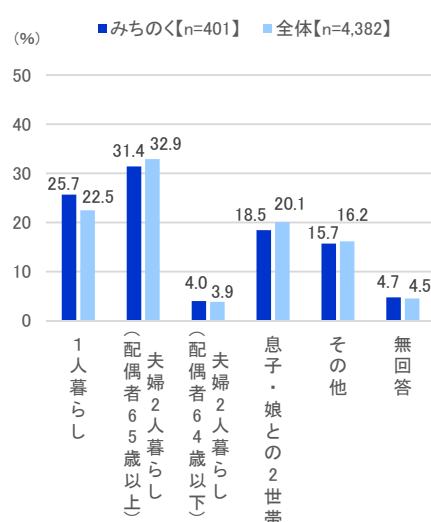
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が68.4%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」が39.9%、「おむつの支給」が34.3%、「訪問理美容サービス」が28.4%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が48.1%と最も高く、次いで「高脂血症」が20.1%、「目の病気」が19.6%となっている。

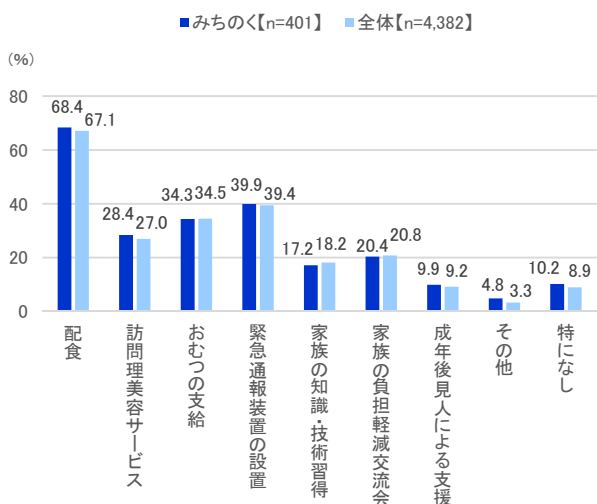
リスク該当者割合・高齢化率



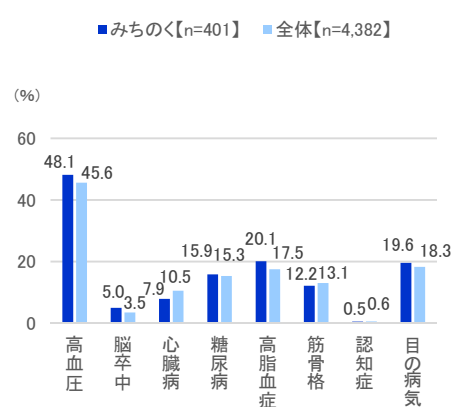
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(11) 浪岡

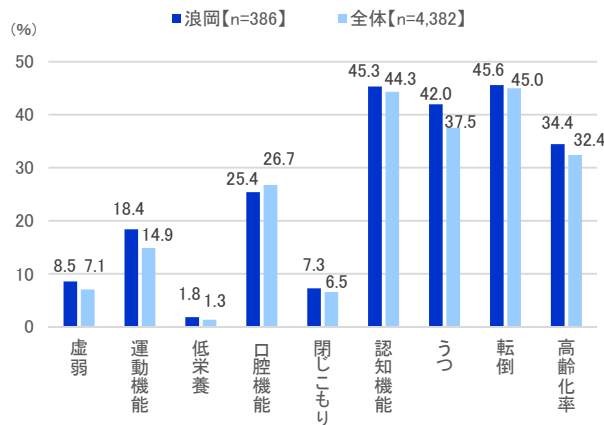
リスク該当者割合については、「転倒」の割合が45.6%と最も高く、次いで「認知機能」が45.3%、「うつ」が42.0%となっている。全体（市の平均）と比べると、「運動機能」及び「うつ」の割合が高くなっており、これら以外のリスクは全体と同程度となっている。高齢化率については、34.4%と全体と比べ、高くなっている。

世帯類型については、「息子・娘との2世帯」の割合が26.4%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が24.6%となっており、高齢者のみの世帯は43.8%（19.2%+24.6%）となっている。

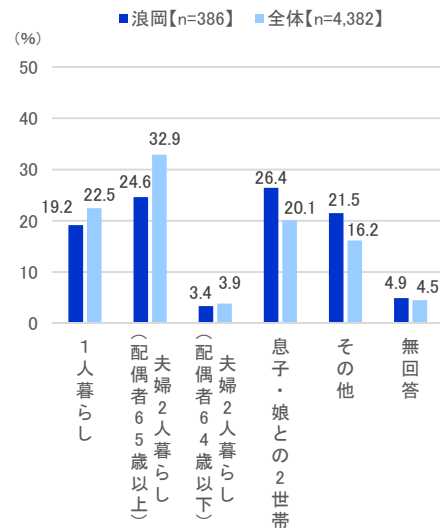
介護生活に必要な支援については、「配食」の割合が64.6%と最も高く、次いで「緊急通報装置の設置」が36.3%、「おむつの支給」が35.7%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が54.8%と最も高く、次いで「目の病気」が20.5%、「高脂血症」が15.2%となっている。

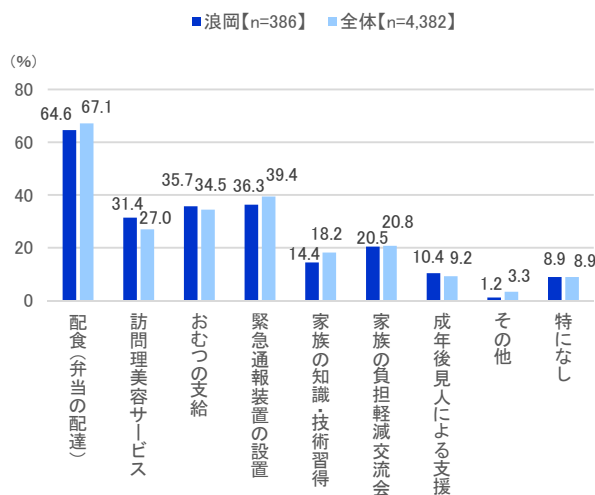
リスク該当者割合・高齢化率



世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合

